

施策評価シート

施策コード	5101	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	農林水産業の振興	所属名 農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○農林水産業は、担い手の育成や不安定な経営環境の改善が求められています。</p> <p>○農業では、意欲ある担い手への農地の集積や地域が一体となった保全・活用などが求められています。農業経営の安定のため、農産物の高付加価値化、特産品化が求められ、消費者に地元農業、農産物への認識と理解を深める一層の取組みが必要とされています。また、国の農政改革に対応した事業の実施が求められています。</p> <p>○林業は、スギなどの人工林の荒廃が進むとともに、放置竹林が拡大しています。森林は、木材などの生産機能に限らず、水源涵養や環境保全などの公益的機能を持つことから、間伐を中心とした森林の保育や木質バイオマスなど間伐材の有効活用が求められています。</p> <p>○水産業においては、燃油高騰などの悪条件が重なり厳しい経営状況となっていますが、漁業振興に向け、定置網漁業や6次産業化など新たな取組みが進んでいます。</p> <p>○鳥取自動車道の開通を契機に農林水産物の販路拡大が期待されていますが、本市の一次産業は経営規模が小さく、梨、らっきょう、松葉がなど全国的に知られた特産品は限られています。このため、地域の特性を活かした品目に集中した生産・出荷拡大の支援を行い、産地化を進める必要があります。</p>
めざす方向	農林漁業団体と連携し、経営環境の改善や生産基盤の維持・整備を進めるとともに、担い手を育成・確保します。また、農林水産物の産地化・特産品化を進めるため、生産拡大と全国への情報発信、販路拡大を図り、安定し持続可能な農林水産業をめざします。
達成するための対策・手段	<p>①農林水産物の産地化、特産品化の促進と間伐を中心とした森林整備</p> <p>②農林水産業の担い手の育成、確保</p> <p>③農林水産業の生産基盤の整備、維持保全</p> <p>④農山漁村の活性化</p> <p>⑤環境にやさしい農業の普及、拡大と消費者理解の促進</p> <p>⑥地産地消と食育の推進</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	新規就農者数	人	目標	6	6	6	6	6
				実績	5	7	8	0	0
				目標達成率	83%	117%	133%		
		(指標の説明) 就農計画を策定し、県の認定を受けた就農者の人数。(基準値は平成21年度)							
	2	間伐材搬出量	万?	目標	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
				実績	1.6	4	2.2	0	0
				目標達成率	107%	267%	147%		
		(指標の説明) 林業の生産振興を示す指標。(基準値は平成21年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	1,154,983	1,431,949	1,346,200	0	0

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>農業では新規就農者を増やすための支援を効果的に実施し、新規就農者(8名)を育成しました。白ねき・ブロッコリー等の地域特産品への出荷奨励を行い特産品の育成を図りました。また、地域共同による農地・水路等の資源の保全管理や農村環境を守る取り組みを支援し、農業・農村の地域資源の保全管理に努めました。林業では造林事業や間伐材搬出助成などに取り組み、林業の振興を図るとともに、多面的機能を持つ森林の保全に努めました。漁業の新規就業者に対して研修支援や漁船等の初期投資に支援することで水産業の担い手育成を図るとともに、定置網漁業や6次産業化など新たな取り組みへの支援を行い、水産業の活性化に努めました。</p>
---	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>農業では鳥取市農業振興プランに基づく農業振興策や、鳥取自動車道を活用した農産物販路拡大の事業を実施し、制度改正となった多面的機能支払制度の周知を図り、良好な農業・農村を維持するための地域活動に対してより一層の支援を行い、農業・農村の活性化を図ります。林業では現在の施策を継続して実施していくとともに、間伐材搬出の促進やボランティア活動の支援を推進することで、森林の機能保全や更なる林業の振興を目指します。水産業では担い手の育成を通じて、漁業就業者の確保を図るとともに、定置網漁業などを有効に利用して地域の活性化を図ります。</p>

7. 市民アンケートに対する方向性

市民アンケートに対する方向性	<p>【重要度：12位、満足度：20位、ニーズ度：11位】</p> <p>●満足度が低く、ニーズ度が比較的高いため、満足度を高めるよう優先して改善を行う必要がある。</p>
----------------	--

事務事業評価シート

事務事業コード	002040	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域特産品振興対策事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域特産品振興対策事業補助金交付要綱、鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農産物生産振興対策等総合支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-31-30

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	白ネギ、ブロッコリー、アスパラガス、生姜
意図 (どのような状態にするために)	市場等への一定量の出荷を確保し、特産品化を図る。
手段 (どうするのか)	対象作物に対する出荷奨励を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 出荷奨励	平成24年度 出荷奨励	平成25年度 出荷奨励	平成26年度 出荷奨励	平成27年度 出荷奨励	
	年度別実績	①振興作物の出荷助成 ・白ねぎ235.6t ・ブロッコリー22.3t ・アスパラガス12.0t ・生姜(出荷)2.06t ・生姜(保管庫)5.58t	①振興作物の出荷助成 ・白ねぎ280.3t ・ブロッコリー27.6t ・アスパラガス15.6t ・生姜(出荷)5.94t ・生姜(保管庫)5.11t	①振興作物の出荷助成 ・白ねぎ281.1t ・ブロッコリー22.9t ・アスパラガス16.4t ・生姜(出荷)5.42t ・生姜(保管庫)2.97t			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,500	8,175	7,903	0	10,000	
	直接経費 A	6,200	7,878	7,612	0	10,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,200	7,878	7,612	0	10,000		
人件費 B	300	297	291	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.04	0.04	0.04	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	出荷量	単位	t	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	0	0	350	365	380			
	実績	0	0	329	0	0				
(指標の説明) 白ネギ、ブロッコリー、アスパラガス、生姜の出荷量										
2	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										
3	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P166(農031)</p> <p>【事業の概要】 市内各地で生産されており、作付が拡大している白ネギ・ブロッコリー・アスパラガス・生姜の市場等への出荷に対して支援することで、市場等への出荷量を確保し本市農産物の特産品化を図る。 作付拡大している白ネギ・ブロッコリー・アスパラガス・生姜に対する出荷奨励。 (作物ごとに定めた単価に出荷数量を乗じる) [振興作物] 白ネギ 15円/kg、ブロッコリー 65円/kg、アスパラガス 110円/kg 生姜 5円/kg、JA保管施設を利用した生姜 25円/kg</p> <p>【事業の成果】 JAを経由して出荷を行った、白ネギ(281,065kg)、ブロッコリー(22,908.5kg)、アスパラガス(16,414.33kg)、生姜(5,416kg)、JA保管施設を利用した生姜(2,970kg)に対して支援を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施するとともに、地域特産品のさらなる推進と生産振興を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出荷量			94%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域特産品の生産振興のため各振興作物の出荷奨励を実施しており、妥当であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	振興作物によって出荷量の増減があるため。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各振興作物に応じた単価で出荷奨励を行っており、効率的であるため。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	振興作物の追加・修正など、見直しが必要であるため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地域特産品のさらなる推進と生産拡大を図るとともに、振興作物の検討を行いながら今後も継続して実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002045	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	みんなでやらいや農業支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市がんばる農家プラン事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	みんなでやらいや農業支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-32-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定農業者、任意組織、農業法人
意図 (どのような状態にするために)	元氣な農業者を育成し、農業の振興、活性化を図る
手段 (どうするのか)	ハード、ソフト事業の経費を支援

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 精米機、乾燥機等導入経費支援	平成24年度 精米機、乾燥機等導入経費支援	平成25年度 精米機、乾燥機等導入経費支援	平成26年度 コンバイン、精米機、乾燥機等機械の導入経費支援	平成27年度 コンバイン、精米機、乾燥機等機械の導入経費支援	
	年度別実績	トラクター、白ねぎ皮剥ぎ機等の機械の導入経費及び機械格納庫等整備の支援	コンバイン、田植機、精米機、乾燥機、らっきょう選別機等の機械の導入経費及び機械格納庫等整備の支援	田植機、動噴、白ねぎ皮剥ぎ機、コンプレッサー等の機械の導入経費及び大型ハウス、機械格納庫整備の支援			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	28,104	25,349	18,151	0	45,000	
	直接経費 A	27,354	24,606	17,422	0	45,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	18,236	16,380	11,686	0	30,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,118	8,226	5,736	0	15,000	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	事業取り組み件数	単位	件	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	0	0	10	10	10					
	(指標の説明)	本事業を活用して、農業振興に資した農家(団体)の件数										
2	目標	0	0	0	0	0						
	実績	0	0	0	0	0						
(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0						
	実績	0	0	0	0	0						
(指標の説明)												

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P168(農035)</p> <p>【事業の概要】 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業(ハード、ソフト事業)に対し助成する。 補助率:ハード 県1/3、市1/6 ソフト 県1/2、市1/6</p> <p>【事業の成果】 ○がんばる農家プラン 河原(1件:継続分)田植え機他 JA(1件:継続分)大型ハウス6棟 ○がんばる地域プラン 鹿野(4件)移送用トレーラー、機械格納庫、市場調査委託費他 上記の事業に対し助成を行い、農業者の所得向上への取り組みと地域農業の振興を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画(プラン)に対し引き続き支援を行い、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業取り組み件数			60%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	意欲ある農業者に対する事業であり、適正である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	農業者が自ら立てた「プラン」の目標に基づき、計画的に実施されている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業実施主体が入札等により経費削減に努めており、適正に実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	審査会において公平に「プラン」が審査され、採択された農業者の取り組みであるため適正である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画(プラン)に対し引き続き支援を行い、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図っていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002043	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	少量多品目チャレンジ支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成27年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市少量多品目チャレンジ支援事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	少量多品目チャレンジ支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-31-36

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> 農業協同組合 農業者グループ 農業者 直売所
意図 (どのような状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> 生産基盤を整備することで白ネギやアスパラガスの生産拡大と出荷量、農業所得の向上を図る。 消費者に安心・安全な農産物の提供に努める。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 白ネギやアスパラガスの生産拡大を目指す農業者等に対し、機械整備や圃場整備に係る経費を支援を行う。 残留農薬の検査試薬代の支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> パイプハウス導入助成 管理機、播種機等農業機械及び出荷調製用機器導入助成 加工製造に要する備品の導入支援 	<ul style="list-style-type: none"> パイプハウス導入助成 管理機、播種機等農業機械及び出荷調製用機器導入助成 加工製造に要する備品の導入支援 販路開拓等の取組に係る経費助成 直売所販売促進等経費支援 	<ul style="list-style-type: none"> 管理機、播種機等農業機械及び出荷調製用機器導入助成 加工製造に要する備品の導入支援 圃場整備、資材費用支援 残留農薬検査試薬費用の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 管理機、播種機等農業機械及び出荷調製用機器導入助成 加工製造に要する備品の導入支援 圃場整備、資材費用支援 残留農薬検査試薬費用の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 管理機、播種機等農業機械及び出荷調製用機器導入助成 加工製造に要する備品の導入支援 圃場整備、資材費用支援 	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,512	4,411	1,525	0	5,000	
	直接経費 A	5,762	3,668	796	0	5,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,880	1,465	0	0	2,500
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,882	2,203	796	0	2,500		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業取り組み面積	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			a	目標	0	0	35	40	45	
			実績	0	0	40	0	0		
	(指標の説明) アスパラガスの生産拡大した面積									
	2	検査対象成分数	成分	目標	0	0	6	0	0	
				実績	0	0	11	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>当初予算・P167(農033) 8月補正・P20(農003)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①農産物直売促進支援事業(補助率: 県1/4・市1/4) H24年度で終了</p> <p>■事業対象者 直売施設への販売額を3年後に5割向上を目指す生産者</p> <p>■補助対象 研修会の開催、先進地視察研修費、パイプハウス、管理機、播種機等の農業機械及び出荷調整用機器類、充填機、真空包装機等加工製造に要する備品</p> <p>②白ネギ・アスパラガス生産拡大支援事業(市: 1/3) H25年度から新規(※白ネギはH25年度のみ実施)</p> <p>■事業対象者 白ネギ・アスパラガスの生産規模拡大を目指す生産者</p> <p>■補助対象 白ネギ皮剥き機、白ネギコンプレッサー アスパラガスの作付に要する圃場整備、資材</p> <p>③直売所販売促進等支援事業(野菜生産競争力強化促進事業)(市: 1/2)</p> <p>■事業対象者 直売所運営協議会</p> <p>■補助対象 残留農薬検査試薬</p> <p>【事業成果】</p> <p>①小型パイプハウス等の導入を行い葉物野菜を中心に生産面積を増反し、生産量拡大を行った。</p> <p>②白ネギに関しては事業申請がなかったものの、アスパラガスの圃場整備に関しては作付面積の増反と資材購入に関して支援し、生産拡大を図った。</p> <p>③平成24年度に残留農薬検査室の整備を行い、平成25年度に施設運営を円滑に機能させるため残留農薬検査試薬のキット購入に支援を行い、安心・安全な農産物の提供に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>①平成24年度で終了し、平成25年度より魅力ある中山間特産物等育成支援事業へ継承</p> <p>②白ネギに関しては別事業で継承し、アスパラガスのみの支援とする</p> <p>③残留農薬検査室を円滑に利活用し、安心・安全な農産物の提供のためにも継続して試薬購入に対し支援する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業取り組み面積			114%		
	2	検査対象成分数			183%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	野菜生産拡大支援事業についてはアスパラガスだけに絞らず、関係機関や農業者等の意見を反映しながら拡充を検討した方がよい。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生産拡大と、安心・安全な農産物の供給につながっているため有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	増反による生産量の増加や、販売額の増加など高い費用対効果が得られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	関係機関と連携を取りながら周知を図っており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	<small>少量多品目チャレンジ支援事業(県との間接補助事業)は平成25年度から魅力ある中山間特産物育成支援事業として継承している。現在この事業名で予算化されている「野菜生産拡大支援事業」「野菜生産競争力強化促進事業」はそれぞれの事業名での要綱が存在しており、その内容上、平成27年度予算から少量多品目チャレンジ支援事業とは切り離して個々に計上し、実施主体が混乱しないようにすることが望ましい。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001981	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ふるさと村推進支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	ふるさと村推進事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ふるさと村推進事業費補助金		予算事業コード	01-05-01-02-03-06	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	トットリ・アフトピア協会会員、むらづくり団体、加工グループ等
意図 (どのような状態にするために)	四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。
手段 (どうするのか)	年間、1,000便以上の目標を揚げ、継続して実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	平成24年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	平成25年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	平成26年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	平成27年度 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、鳥取市のPRとむらづくり運動の活性化につなげる。	
	年度別実績	年間、1,000便の目標を目指して平成23年度は、1,141便を発送した。	年間、1,000便の目標を目指して平成24年度は、1,123便を発送した。	年間、1,000便の目標を目指して平成24年度は、1,081便を発送した。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,325	2,314	2,293	0	1,200	
	直接経費 A	1,200	1,200	1,200	0	1,200	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,200	1,200	1,200	0	1,200		
人件費 B	1,125	1,114	1,093	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.15	0.15	0.15	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	ふるさと宅配便発送数	単位	%	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
					実績	1000	1000	1000	1000	1000	
	(指標の説明)	年間発送数の割合									
2					目標	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	
3					目標	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)											

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P152(農003)</p> <p>【事業の概要】 鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を四季を通じて、「とっとりふるさと宅配便」として全国に年4回発送する。本市と本市製品のPRをする。</p> <p>【事業の成果】 鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物、加工品を四季を通じて詰合せた「とっとりふるさと宅配便」を年4回発送した。 ・ふるさと宅配便品目選定委員会の開催 ①各生産団体の発送希望商品のPR ②委員による発送品目の選定 ・とっとりふるさと村実行委員会の開催(4回) ①各発送月のアンケート結果の報告 ②各発送月の実施計画と産物集荷依頼 ・年4回(8月、10月、12月、4月) 鳥取市で生産される農林水産物及び加工品等 1便当たり4,500円(4便ごとに1,000円割引) 1,000便を目標として1,081便を発送。</p> <p>【今後の課題・方向性】 消費税増税に伴い商品、資材、発送代等の値上がりが見込まれるので1便あたりの価格を検討する必要がある。本市の農林水産物のPRと販売拡大を目指し、継続して実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	ふるさと宅配便発送数	114%	112%	108%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物、手づくりの加工品を四季を通じて、全国へ届けることにより鳥取市のPRと生産者の所得向上につなげている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本市の農業者の所得向上と農産物等のPRにつながる活動であり、有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	発送準備等、生産者を含めた人的支援等、役割分担を明確にしており効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	宅配便の送り主、受け取られた方からも好評である。また、アンケート調査も実施しており、結果を反映させることにより、質を高める取り組みを継続して行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>本事業は、会員(特に女性)の加工品づくり等の生産意欲に繋がっているおり、ひいては農村の活性化に資する事業であり、今後も継続して事業を実施する。なお、品質を落とさず充実した内容を心がけ、発送する際は十分な確認を行い、安全安心な商品を届けるようにする。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001987	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特産品生産等むらづくり支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成27年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	特産品生産等むらづくり支援事業費補助金			予算事業コード	01-05-01-02-03-12

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域の魅力ある特産品の開発、加工、販売に取り組む団体等
意図 (どのような状態にするために)	主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげ、農業振興と地域の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	特産品の開発、加工、商品化、販売拡大等の取り組みに対して支援をする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援する。各団体等の主体的な活動を促進して、特産品の生産・販売拡大につなげて農村の活性化を図る。	
	年度別実績	地域の特産品の開発、生産、販売促進、販路拡大を行った。	地域の特産品の開発、生産、販売促進、販路拡大を行った。	地域の特産品の開発、生産、販売促進、販路拡大を行った。 ・取組団体 4団体			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,939	1,809	1,396	0	800	
	直接経費 A	1,189	1,066	667	0	800	
	直接経費の財源内訳	国・県	565	329	213	0	160
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	624	737	454	0	640
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	特産品等生産量、販売量の伸び率	%	目標	0	0	10	10	10	
				実績	0	0	20	0	0	
	(指標の説明) 特産品の生産・販売拡大に取り組んだ団体の生産量の伸び率									
	2		目標		0	0	0	0	0	
実績				0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 掲載なし</p> <p>【事業の概要】 地域の魅力ある特産品の生産、加工、販売に取り組む地区、集落、団体等を支援することにより、農産物の付加価値化と特産品の生産・販売拡大につなげることを目的として、農業者の所得向上と地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 取組により販促資材や機器の導入などを行い、作業の効率化や、積極的なPRなどにより、販売額や、生産量等の増加につながっている。 ・取組団体数 H24年度：4団体 H25年度：4団体</p> <p>【今後の課題・方向性】 加工品づくりと販売促進に対して小規模でも取り組みやすい助成制度のニーズが高いため、要望に即した制度となるよう取り組む必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	特産品等生産量、販売量の伸び率			200%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生産拡大や販売額増、地域の活性化など、対象団体の意図と合致しているため妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生産や販売量の増加につながっているため有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	作業の効率化等により販売額も増加し、高い費用対効果が得られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	関係機関等と連携を取り、周知しているため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	特産品の生産・販売拡大につなげ、農業振興と地域の活性化を図るため、今後も継続して実施していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002796	重点事業区分	リープロ6	所属名	農林水産部 農業振興課	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農産物販路拡大支援事業					

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農産物販路拡大支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-35-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農産物、加工品
意図 (どのような状態にするために)	本市の農産物の販路開拓、拡大に繋げる。
手段 (どうするのか)	関東、関西圏において農産物等のPR活動、市場ニーズや流通方法などの調査を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画		農産物及び加工品等を京阪神圏域に広くPRするとともに販路開拓・拡大を図る。	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR 関東での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR	
	年度別実績		農産物及び加工品等を京阪神圏域に広くPRするとともに販路開拓・拡大を図った。	関西圏での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PR 関東での販路開拓を目指した商談、調査、農産物PRを行った。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	6,479	12,209	0	11,382	
	直接経費 A	0	5,736	8,566	0	11,382	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	2,425	2,190	0	0
		一般財源	0	3,311	6,376	0	11,382
人件費 B	0	743	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	プチ・マルシェ参加生産者件数	件	目標	0	0	15	20	25
				実績	0	0	16	0	0
	(指標の説明) プチ・マルシェ事業に参加する生産者の件数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 農業振興課生産流通振興室 0857-20-3074</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P169(農038)、8月補正・P20(農004)</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 鳥取市農業公社に専門職員を1名配置し、京阪神圏域で本市の農産物、加工品の特産品の販路拡大を推進する。 関西圏を中心に、プチマルシェ事業、グリーンマーケット事業、イルオットマルシェ事業を展開し農産物等の販売・PRを行なうことで、生産者の所得、生産意欲向上に繋げる。 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 鳥取市農業公社に専門職員を1名配置し、PR活動や消費者・市場のニーズ把握、特産品の発掘等の事業を委託し、本市の農産物、加工品等の特産品を京阪神圏域に向け販路拡大を図った。 関西圏を中心に、プチマルシェ事業272回、グリーンマーケット事業39回、イルオットマルシェ事業4回実施し、本市の農産物の販売とPRを行った。これにより、生産者の所得、生産意欲の向上と本市への誘客PRを図った。 <p>【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道を活かし、本市の農産物、加工品等の特産品を関西圏等に向け販路拡大を図る。また、プチマルシェ事業、グリーンマーケット事業、イルオットマルシェ事業を生産者と業者により実施することで、ニーズと合致した仕組み・事業となるよう図り、さらなる生産者の所得、生産意欲向上に繋げる。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	プチ・マルシェ参加生産者件数			107%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	<p>県外向けの販路開拓・拡大を目指す生産者に事業を活用し意欲向上に繋げてもらう。</p>
<p>事業の有効性</p> <p>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	<p>所得向上、生産意欲向上に繋がる。</p>
<p>資源投入の効率性</p> <p>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</p>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	<p>外部委託を検討し、ニーズに即した更なる展開も期待できる。</p>
<p>サービスの公平性</p> <p>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	<p>広く生産者へ周知を図っており、意欲のある生産者の発掘に努めている。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント	<p>鳥取自動車道を活かし、本市の農産物、加工品等の特産品を関西圏等に向け販路拡大を図る。また、プチマルシェ事業、グリーンマーケット事業、イルオットマルシェ事業を生産者と業者により実施することで、ニーズと合致した仕組み・事業となるよう図り、さらなる生産者の所得、生産意欲向上に繋げる。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	002051	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	畜産振興事業(対策事業)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市畜産振興対策事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	畜産振興対策事業費		予算事業コード	01-05-01-04-06-14	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	肉用牛及び乳用牛
意図 (どのような状態にするために)	牛を飼養している農家の経営力の強化を図る。
手段 (どうするのか)	放牧料や配合飼料購入費等に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策 啓発宣伝支援	平成24年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策 啓発宣伝支援	平成25年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策 啓発宣伝支援	平成26年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策	平成27年度 放牧奨励 肉用牛肥育経営体質強化対策 肥育素牛安定導入対策	
	年度別実績	放牧奨励 10人 肉用牛肥育経営体質強化対策 8人 肥育素牛安定導入対策 8人	放牧奨励 12人 肉用牛肥育経営体質強化対策 10人 肥育素牛安定導入対策 9人	放牧奨励 14人 肉用牛肥育経営体質強化対策 7人 肥育素牛安定導入対策 8人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,316	3,769	4,957	3,050	4,400	
	直接経費 A	2,566	3,026	4,228	3,050	4,400	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,566	3,026	4,228	3,050	4,400		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		肉用牛放牧頭数	頭	目標	0	0	120	120	120	
			実績	0	0	152	0	0		
	(指標の説明) 肉用牛の放牧頭数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P171(農042)、6月補正・P2(農002)</p> <p>【事業の概要】 畜産農家の負担軽減と、良質の家畜の育成の支援をすることで本市の畜産振興を図る。 ○肉用牛・乳用牛放牧奨励事業 ○肥育牛素牛安定導入対策事業 ○肉用牛肥育経営体質強化対策事業</p> <p>【事業の成果】 畜産業の経営安定を図ることで、安定した高品質の牛肉や牛乳を消費者に提供した。 肉用牛・乳用牛放牧奨励事業 H23年度：10人 H24年度：12人 H25年度：14人 肥育牛素牛安定導入対策事業 H23年度：8人 H24年度：9人 H25年度：8人 肉用牛肥育経営体質強化対策事業 H23年度：8人 H24年度：10人 H25年度：7人</p> <p>【今後の課題・方向性】 畜産経営の現状を十分把握したうえで対象者、事業内容を精査していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	肉用牛放牧頭数			127%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	畜産農家の経営力の強化が図れるため妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	畜産農家の経営意欲の維持向上につながるため有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各関係機関との連携が図れており効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業によっては、一部の農家のみが受益者となっているものがあり畜産農家全体で見ればやや公平性に欠ける。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>事業内容を精査しながら継続して支援することで、畜産農家の経営安定を図る。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002054	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	畜産振興事業(和牛)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市和牛再生促進事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	和牛再生促進事業費		予算事業コード	01-05-01-04-06-19	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	和牛農家
意図 (どのような状態にするために)	和牛農家が、安心して規模拡大に取り組めるように促すとともに、効率的な経営を促進する。
手段 (どうするのか)	初期投資に対する支援をするとともに、優良雌牛の導入に対し支援。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	平成24年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	平成25年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	平成26年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	平成27年度 増頭を目的とした施設整備支援 優良雌牛導入支援	
	年度別実績	増頭を目的とした施設整備支援 1棟 優良雌牛導入支援 8頭	優良雌牛導入支援 6頭	増頭を目的とした施設整備支援 1棟 優良雌牛導入支援 14頭			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,196	805	2,264	3,500	1,500	
	直接経費 A	2,446	62	1,535	3,500	1,500	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,382	0	720	2,000	750
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	312	0	0
一般財源	1,064	62	503	1,500	750		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		優良雌牛導入数	頭	目標	0	0	10	11	12	
			実績	0	0	14	0	0		
	(指標の説明) 肉用牛の頭数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P172 (農044) 6月補正・P17 (農003)</p> <p>【事業の概要】 生産者の畜産経営体質の強化を図るため、優良繁殖雌牛の導入に対し支援</p> <p>【事業の成果】 優良繁殖雌牛14頭の導入支援及び増頭に伴う堆肥舎整備の支援を行うことで、畜産農家の初期投資を軽減し、経営体質強化を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 配合飼料価格の高騰が右肩上がりが続いている中、枝肉価格は低落し、畜産経営の収益性が低下している。また、和牛農家は初期投資の負担が大きいことから規模拡大が停滞している状況であり、現状に合った更なる支援を行うことで生産者の畜産経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力の向上を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	優良雌牛導入数			140%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生産者の畜産経営体質の強化が図られるため妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生産者の畜産経営体質の強化が図られるため有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各関係機関との連携が図られており効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各関係機関との連携が図れており対象農家に周知されているため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本市における和牛のブランド力向上のため、生産者の経営体質強化は必要であり、今後も経営体質強化に向けた取り組みを実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002021	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	林産物振興対策事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	林産物振興対策事業補助金交付要綱、鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	林産物振興対策事業費		予算事業コード	01-05-01-03-16-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	椎茸の生産
意図 (どのような状態にするために)	椎茸産地として持続的な発展を目指す。
手段 (どうするのか)	椎茸の種菌購入やほだ木購入等に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成 ⑤さのこ王国とっとりけんフェスティバル開催費助成	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成 ⑤施設整備助成	①種菌購入助成 ②販売促進助成 ③ほだ木購入助成 ④運搬車購入助成 ⑤施設整備助成	
	年度別実績	①椎茸種菌購入助成 1,780袋 ②椎茸販売促進イベント活動への助成 (とっとりきのご祭り) ④新規参入者の運搬車購入助成 1台	①椎茸種菌購入助成 1,660袋 ②椎茸販売促進イベント活動への助成 (とっとりきのご祭り) ③ほだ木購入助成 500本 ④運搬車購入助成 4台 ⑤フェスティバル開催経費への助成	①椎茸種菌購入助成 1,660袋 ②椎茸販売促進イベント活動への助成 (とっとりきのご祭り)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,560	4,704	2,277	0	2,768	
	直接経費 A	1,810	3,961	1,548	0	2,768	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,810	3,961	1,548	0	2,768		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	椎茸生産量	t	目標	25	26	27	27	27
				実績	32	20	21	0	0
	(指標の説明) 乾燥椎茸、生椎茸の生産量(乾燥換算)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の概要】 本市の特産品であるシイタケの生産、出荷及び販売を促進することで、消費拡大及び生産者の意欲向上を図り、シイタケの生産振興を目的とするとともに、新規参入者への初期投資に対する支援を行い、シイタケ産地としての持続的な発展を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> シイタケの種菌の購入に係る経費を助成 シイタケのイベント開催やパンフレット作成等による販売促進に係る経費を助成 新規参入者が業者からほだ木を購入する際、購入に係る経費を助成 新規参入者が林内作業車を購入する際、購入に係る経費を助成 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 鳥取いなば農協を経由して購入したシイタケの種菌1,660袋に対して支援を行った。 「とっとりきのこ祭り」の開催に係る経費に対して支援を行った。 <p>【今後の課題・方向性】 本市のシイタケのさらなる生産振興と消費拡大を目指すため、事業内容の見直しや拡大を行い、生産者のニーズに沿った支援を行う必要がある。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	椎茸生産量	128%	77%	78%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	シイタケの振興のため各種支援を実施しており、妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	種菌購入費や販売促進費、新規参入者の初期投資への支援を実施しており、有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	補助率や補助対象経費の見直しが必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象者の見直しや新規参入者への事業の周知が必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	本市のシイタケのさらなる生産振興と消費拡大を目指し、事業内容の見直しや拡大を行い、生産者のニーズに沿った支援を行っていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002122	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	多様な担い手支援事業(集落営農)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	集落営農体制強化支援事業補助金			予算事業コード	01-05-01-06-21-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	集落の水田面積の過半で経営等を行う計画を有する集落営農組織
意図 (どのような状態にするために)	集落の農地を維持できる体制づくり
手段 (どうするのか)	組織が作成する計画(集落営農ビジョン)に沿った機械施設の整備等に要する経費を助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	機械施設整備等の支援	機械施設整備等の支援	機械施設整備等の支援	機械施設整備等の支援	機械施設整備等の支援	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,299	9,034	7,182	0	7,700	
	直接経費 A	3,550	5,321	4,996	0	7,700	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,366	3,547	3,330	0	5,132
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,184	1,774	1,666	0	2,568	
人件費 B	3,749	3,713	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		集落営農ビジョン数	件	目標	2	2	2	2	2	
			実績	1	2	1	0	0		
	(指標の説明) 当該年度に集落が作成した計画(集落営農ビジョン)数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P175(農050)</p> <p>【事業の概要】 農地の荒廃、担い手の高齢化や後継者不足を改善する方法の一つとして、集落営農組織の育成及び経営発展を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度の実績 事業要望があり2集落で集落営農ビジョンを作成予定であったが、1集落において農地集積についての集落内の同意が得られなかった事により、ビジョン作成に至らなかった。 組織化支援事業(実績 なし) 経営多角化支援事業(実績 なし) 機械施設整備支援事業 (実績 上原:4条刈りコンバイン、保管庫兼作業場 4,996,000円) 平成23年度決算額 1組織 3,550千円 平成24年度決算額 2組織 5,321千円 平成25年度決算額 1組織 4,996千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	集落営農ビジョン数	50%	100%	50%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	集落の農地を守ってゆくため、本事業の推進によって集落営農組織の育成及び経営発展を進め、将来にわたって農地を守ってゆくことは必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	集落営農ビジョンの達成を目指すことで、農地集積や作業の効率化が進み集落営農組織の育成及び経営発展が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	審査会を実施し、目標達成意識の高い集落営農尾組織を事業対象とすることで、効率的に事業実施されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての集落に対して公平に情報提供されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	継続して実施し、集落営農組織の育成及び経営改善による農家の所得向上とむらづくりの活性化を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002123	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	多様な担い手支援事業(企業参入)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	企業等農業参入促進支援事業費補助金			予算事業コード	01-05-01-06-21-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	建設業等の他分野から新規参入し、農業経営の初期段階にある企業等
意図 (どのような状態にするために)	参入時の負担を軽減し意欲的な企業等の新規参入を促進することにより担い手不足を解消するため
手段 (どうするのか)	農業用機械施設導入経費を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 農業参入企業への設備投資費用の補助	平成24年度 農業参入企業への設備投資費用の補助	平成25年度 農業参入企業への設備投資費用の補助	平成26年度 農業参入企業への設備投資費用の補助	平成27年度 農業参入企業への設備投資費用の補助	
	年度別実績		農業参入企業への設備投資費用の補助 (自動車販売整備会社の菌類生産に係るパイプハウス整備を支援)	農業参入企業への設備投資費用の補助 (IT企業の野菜生産に係る野菜工場整備を支援)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,499	2,953	16,105	0	7,500	
	直接経費 A	0	1,468	14,648	0	7,500	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	1,467	9,765	0	5,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	1	4,883	0	2,500	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	参入法人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			法人	目標	0	0	1	1	1	
			実績	0	2	1	0	0		
	(指標の説明) 他分野からの新規参入の法人数									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238
	【9次総の施策体系】	5101
	【予算計上の経過】	予算事業別概要目次 当初予算・P175(農050)
	【事業の概要】	建設業等の他分野から参入した企業が、担い手となり農業振興に寄与することを目的として企業の参入促進を図る。
	【事業の成果】	農業用機械施設の整備を支援し、農業参入を促進した。 平成24年度実績 パイプハウス3棟 1,467千円(きのこ生産、自動車販売整備会社) 平成25年度実績 野菜工場 14,648千円(野菜生産、IT企業) 農業参入を検討する企業の相談受付 菓子製造販売企業や中古農機販売会社の米生産、飲料水製造販売会社の果樹生産など
	【今後の課題・方向性】	事業実施主体の経営の持続性を担保するため、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	参入法人数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	多面的機能を有する農業の担い手不足の解消のためには、企業の農業参入が有効であり市による促進が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	適切な事業計画の作成や実施を促すことにより、参入企業の継続的な事業実施(農業経営)が図られる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	企業の経営により効率的に事業が実施されるとともに、農業参入による雇用も生まれている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	パンフレットやホームページ等により、すべての事業者に対し公平に情報提供されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化	<input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	継続して実施し、新しい担い手(企業)の農業参入を図ることにより、地域農業の振興に活かしていく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	001997	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(定住促進)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	指定管理
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	新規就農推進事業費			予算事業コード	01-05-01-02-10-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	とっとりふるさと就農舎
意図 (どのような状態にするために)	とっとりふるさと就農舎の研修生の安定的確保
手段 (どうするのか)	指定管理委託料等を交付する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	指定管理委託料等の交付	指定管理委託料等の交付	指定管理委託料等の交付	指定管理委託料等の交付	指定管理委託料等の交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,737	8,551	8,084	0	8,426	
	直接経費 A	7,987	7,808	7,355	0	8,426	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7,987	0	0	0	0
	一般財源	0	7,808	7,355	0	8,426	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		研修生の確保数	人	目標	3	3	3	3	3	
			実績	3	4	2	0	0		
	(指標の説明) 当該年度に新規に就農舎に入る研修生数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239
	【9次総の施策体系】5101
	【予算計上の経過】 当初予算・P155(農009)
	【事業の概要】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、平成19年4月に農業技術習得施設「とっとりふるさと就農舎」を開設し、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保を図る。
	【事業の成果】 指定管理するとともに、就農アドバイザーを配置し新規就農者の育成に努めた。また、新規就農相談会等でふるさと就農舎のPRに努め、県外から研修生2名を確保した。 平成23年度 4人就農(県外4人) 決算額 7,987千円 平成24年度 2人就農(県外1人、県内1人) 決算額 7,808千円 平成25年度 3人就農(県外3人) 決算額 7,355千円
【今後の課題・方向性】 農業者等の高齢化、減少等の問題を解決するためには、新規就農者の確保が大切であり、これまでと同水準の事業を実施する。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	研修生の確保数	100%	133%	67%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農業者等の高齢化、減少等の問題を解決するため、新規就農者を安定して確保するためには、とっとりふるさと就農舎の研修生の確保に向けた積極的な市の支援は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	毎年3名程度の研修生を確保するとともに、卒業後は市内に就農している。また、県外から研修生を確保することにより移住定住者の確保にもつながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指定管理による効率的な事業実施が図られている。また、普及所などの関係機関と研修内容等についての検討の場をもち、事業の効率的な運営が図られるよう努めている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	とっとりふるさと就農舎の積極的なPRに努めるとともに、県内外を問わず研修生を募集し、公平性をもって研修生の決定をしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり今後も継続していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001998	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(定住円滑化)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	就農定住円滑化対策事業費			予算事業コード	01-05-01-02-10-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	とっとりふるさと就農舎等で農業体験を終えた研修生
意図 (どのような状態にするために)	円滑な就農定住と早期経営安定
手段 (どうするのか)	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	平成24年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	平成25年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	平成26年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	平成27年度 住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	
	年度別実績	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成	住宅修繕費支援、就農準備金支給、家賃助成			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,358	5,077	3,110	0	2,806	
	直接経費 A	2,859	3,592	1,653	0	2,806	
	直接経費の財源内訳	国・県	979	862	400	0	481
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,880	2,730	1,253	0	2,325
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		認定就農者数	人	目標	4	3	4	3	4	
			実績	4	3	3	0	0		
	(指標の説明) 当該年度に新規に認定された認定就農者数(農業体験を終えた者に限る)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P155(農010)</p> <p>【事業の概要】 とっとりふるさと就農舎等での研修修了者の円滑な就農定住と早期経営安定のため住宅修繕、就農準備金、家賃を助成した。 ○住宅修繕費助成事業 期間：研修終了後1年未満(1回限り) 補助率：10/10(上限500千円) ○就農準備金支給事業 補助額：200千円 ○住居家賃助成事業 期間：2年間 補助率1/2(上限27千円/月)</p> <p>【事業の成果】 平成25年度実績 住宅修繕の一部助成 1名 340千円 就農準備金の支給 2名 400千円 住居家賃の一部助成 6名 913千円 平成23年度決算額 2,859千円 平成24年度決算額 3,592千円 平成25年度決算額 1,653千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 これまでと同水準の事業を実施する</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	認定就農者数	100%	100%	75%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	新規就農者の就農定住と早期経営安定を図るため、各事業は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各事業の活用により、転出者はいない。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業実施が図られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	農業体験を終了した研修生に対し、公平に事業を実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就農者対策は、本市の農業後継者確保及び移住定住に有効な施策であり今後も継続していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002000	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(就農応援)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が往きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	就農応援交付金事業費			予算事業コード	01-05-01-02-10-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定就農者
意図 (どのような状態にするために)	認定就農者の経営の早期安定
手段 (どうするのか)	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	平成24年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	平成25年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	平成26年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	平成27年度 就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	
	年度別実績	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる交付金の交付			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	10,394	2,394	849	0	120	
	直接経費 A	9,644	1,651	120	0	120	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,789	983	80	0	80
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,855	668	40	0	40	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		認定就農者数	人	目標	6	6	6	6	6	
			実績	5	7	8	0	0		
	(指標の説明) 当該年度に認定された認定就農者数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P156(農012)</p> <p>【事業の概要】 新規就農者の定着を図るため、認定就農者に対し就農後最長3年間、運転資金・生活費等に活用できる補助金を助成。</p> <p>【事業の成果】 1人 120千円 交付単価:40千円/月 平成23年度決算額 9,644千円 平成24年度決算額 1,651千円 平成25年度決算額 120千円 ※45歳未満の認定就農者については、平成24年度から始まった国事業の青年就農給付金を活用しているため、同年度から決算額が減少。</p> <p>【今後の課題・方向性】 新規就農者の定着を図るためには、生活費等の支援は必要であり、これまでと同水準の事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	認定就農者数	83%	117%	133%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	新規就農者の定着を図るため、経営が安定しない就農初期に、運転資金や生活資金に活用できる交付金の交付は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本事業を実施することにより、新規就農者の経営の安定が図られており、離農者はいないため、有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業の実施が図られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	認定就農者に対し公平に事業を実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就農者対策は、本市の農業後継者確保及び移住定住に有効な施策であり今後も継続していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002005	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(生活体験)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農山漁村生活体験事業費			予算事業コード	01-05-01-02-15-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業体験者
意図 (どのような状態にするために)	農業体験者が市内において就農定住
手段 (どうするのか)	農業体験者に対して滞在経費等を助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	農業体験者に対して滞在経費等を助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	13,859	10,733	12,193	0	12,144	
	直接経費 A	11,610	8,505	10,007	0	12,144	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,520	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,090	8,505	10,007	0	12,144
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		農業体験者数	人	目標	4	4	4	4	4	
			実績	3	4	3	0	0		
	(指標の説明) 当該年度に新規に農業体験を始めた者の人数									
	2	就農定住率	%	目標	0	0	100	100	100	
				実績	0	0	100	0	0	
(指標の説明) 農業体験を終えた者で当該年度に就農定住した者の割合										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P159(農017)</p> <p>【事業の概要】 農業に関心を持つ県内外に在住する若者等が、農業を体験しながら農村地域で滞在することにより将来の就農定住と地域の活性化を図ることを目的として、とっとりふるさと就農舎と一般農家での就農研修を行っている者に対して、滞在経費・家賃・受入先の助成を行った。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度実績 研修生滞在経費助成(10万円/月) 1人 研修生同伴者滞在経費助成(3万円/人/月) 10人(5世帯) 研修生家賃助成(上限5万円/月) 5人 研修生受入助成(5万円/月) 9人 平成23年度決算額 11,610千円(研修生8人(就農舎2年生5人、1年生3人)) 平成24年度決算額 8,504千円(研修生8人(就農舎2年生4人、1年生4人)) 平成25年度決算額 10,008千円(研修生9人(就農舎2年生4人、1年生2人、中途退舎2人、一般農家1年生1人))</p> <p>【今後の課題・方向性】 新規就農者を育成・確保するため、収入のない農業体験期間中における滞在経費等の助成は必要であり、これまでと同水準の事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	農業体験者数	75%	100%	75%		
	2	就農定住率			100%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	新規就農者を育成・確保するため、収入のない農業体験期間中における、滞在経費等の助成は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の活用により、就農定住が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業実施が図られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	とっとり農業体験事業体験者に認定された事業者に対し、公平に事業を実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就農者対策は、本市の農業後継者確保及び移住定住に有効な施策であり今後も継続していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002793	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	新規就農者育成事業(青年就農給付)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が往きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	新規就農営農支援事業費			予算事業コード	01-05-01-02-10-09

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	青年就農者
意図 (どのような状態 にするために)	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る
手段 (どうするのか)	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画		就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	
	年度別実績		就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付	就農初期の運転資金、生活費等に活用できる給付金の給付			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	27,005	35,964	0	43,077	
	直接経費 A	0	26,262	34,507	0	43,077	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	26,262	34,507	0	43,077
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
	人件費 B	0	743	1,457	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	認定就農者数	人	目標	6	6	6	6	6	
				実績	5	7	8	0	0	
	(指標の説明) 当該年度に認定された認定就農者数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P157(農013)</p> <p>【事業の概要】 新規就農を目指す青年が、安定して研修及び就農初期の経営を行うことができるよう生活支援を行う。独立・自営就農時の年齢が45歳未満で人・農地プランに位置づけられている者に対し、年間150万円を最長5年間給付する。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度実績 給付対象者19人 26,250千円 平成25年度実績 給付対象者23人 34,500千円</p> <p>※平成24年度から実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 青年就農者の定着を図るためには、生活費等の支援を必要であり、これまでと同水準の事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	認定就農者数	83%	117%	133%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	青年就農者の定着を図るため、経営が安定しない就農初期に、運転資金や生活費となる給付金の給付は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本事業を実施することにより、青年就農者の経営の安定性が図られ、有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業実施が図られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	経営開始計画の認定を受けた青年就農者に対し公平に事業を実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就農者対策は、本市の農業後継者確保及び移住定住に有効な施策であり今後も継続していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002111	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農地集積促進事業(流動化推進)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業経営基盤強化促進法、鳥取市農地流動化加速的推進事業助成金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	農地流動化推進事業費補助金			予算事業コード	01-05-01-06-03-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定農業者の利用権設定
意図 (どのような状態にするために)	認定農業者の利用権設定の促進
手段 (どうするのか)	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	認定農業者の利用権設定を促進するため促進費を助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	11,200	12,211	13,985	0	9,412	
	直接経費 A	10,450	11,468	13,256	0	9,412	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,968	3,542	4,228	0	1,882
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	40	0	0
	一般財源	5,482	7,926	8,988	0	7,530	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		認定農業者の利用権設定面積	ha	目標	112	112	117	117	117
	実績	130	143	165	0	0			
(指標の説明) 当該年度に認定農業者が期間3年以上の利用権設定した面積									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 担い手支援係 0857-20-3239
	【9次総の施策体系】 5101
	【予算計上の経過】 当初予算・P174 (農047)
	【事業の概要】 農地の流動化促進及び優良農地の確保を図り、認定農業者の規模拡大を増進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図る。 認定農業者が3年以上の賃借を伴う利用権設定を行った場合に10aあたり8,000円の助成金を交付
	【事業の成果】 平成23年度実績 交付対象農地面積 13,062.9a 平成24年度実績 交付対象農地面積 14,335.6a 平成25年度実績 交付対象農地面積 16,570.6a
【今後の課題・方向性】 担い手への農地の集積は地域農業の振興に有効であり、継続して事業を実施する。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	認定農業者の利用権設定面積	116%	128%	141%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農地の流動化促進及び優良農地の確保を図るためには、認定農業者の規模拡大を増進することが必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業実施により、認定農業者への農地の集積が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業が実施されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域の担い手である認定農業者が事業の対象であることは適切である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地域農業の振興のため、中心的担い手である認定農業者への農地集積を図ることは必要で、経営安定や耕作放棄地の発生防止に資する事業であり、今後も継続して実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002814	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農地集積促進事業(経営安定推進)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	戸別所得補償経営安定推進事業費補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農地集積等対策事業費			予算事業コード	01-05-01-06-01-06

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心となる経営体に農地集積を行った農地の所有者及び耕作者
意図 (どのような状態にするために)	農地集積を促すことで、農業の競争力、体質強化を図り、持続可能な農業の実現を図る。
手段 (どうするのか)	農地集積協力金を助成

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		農地集積を推進するため協力金を助成	農地集積を推進するため協力金を助成	農地集積を推進するため協力金を助成	農地集積を推進するため協力金を助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	8,819	11,118	0	6,890	
	直接経費 A	0	5,106	7,475	0	6,890	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	5,101	7,475	0	6,890
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	5	0	0	0
	人件費 B	0	3,713	3,643	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.50	0.50	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		利用権設定面積	ha	目標	0	7	7	7	7	
			実績	0	0.2	6	0	0		
	(指標の説明) 中心となる経営体への利用権設定面積									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P173(農046)、8月補正・P22(農007)</p> <p>【事業の概要】 平成24年度より国の戸別所得補償経営安定推進事業を活用し全市域の各集落を対象として人・農地プランを作成する。 <1> 合意形成を図りながら人・農地プランを作成することで、地域の担い手や農地の利用調整を推進。 <2> 人・農地プランに位置づけられた担い手への農地集積などに対する支援制度。</p> <p>【事業の成果】 <1> 人・農地プラン作成に係る活動 ① 人・農地プラン作成地域 14地域 ② 人農地プランを作成した集落 83集落 <2> 人・農地に基づいて担い手への農地集積に協力した農家への協力金事業 ① 経営転換協力金 2,300千円(リタイア等を行う農地の提供者5戸 : 4.2ha) ② 分散錯画解消協力金 93千円(農地の連担化に協力する農地の提供者5戸 : 1.9ha)</p> <p><実績> 平成24年度決算額 901千円 平成25年度決算額 7,475千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 国事業に合わせ実施</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	利用権設定面積		3%	86%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	人・農地プランの推進により、集落での話し合いが進み地域農業の将来を検討するよい機会となっている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実施により、地域の中心となる担い手へ農地が集積され農地の効率的な活用が図られる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	必要に応じ、効率的に実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての集落に対して、公平に情報提供されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	継続して実施し、地域の担い手に農地を集積することで、高齢化、後継者不足、農地の有効活用に対応し集落の活性化を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001970	重点事業区分	リープロ6	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農用地利用権設定促進事業		所属名	農業委員会事務局 農業委員会事務局

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業経営基盤強化促進法
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農用地利用権設定促進事業費			予算事業コード	01-05-01-01-04-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農地
意図 (どのような状態にするために)	農地の流動化を促進し、担い手への利用集積を促進する。
手段 (どうするのか)	農地利用集積推進員を設置し、農地の貸し借りの希望を確認しながら、利用権設定を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	農地の貸借の掘り起こし	農地の貸借の掘り起こし	農地の貸借の掘り起こし	農地の貸借の掘り起こし	農地の貸借の掘り起こし	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,162	2,172	2,251	0	843	
	直接経費 A	665	687	794	0	843	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	665	687	794	0	843
人件費 B	7,497	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.80	0.80	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		利用権設定の件数	件	目標	900	900	900	900	900	
			実績	1241	1160	1186	0	0		
	(指標の説明) 利用権設定の申出件数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農地係 0857-20-3392</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 農地利用集積推進員を設置し、農地の貸し借りの希望を確認しながら利用権の設定を進める。</p> <p>【事業の成果】 農地の利用権設定を促進することにより、農地の流動化や利用集積が図られた。 利用権設定の申出件数 1,186件 利用権設定面積 田：39,230a、畑等：8,284a、計：47,514a 《参考》 利用権設定の申出件数 H23年度 1,241件 H24年度 1,160件 H25年度 1,186件</p> <p>【今後の課題・方向性】 小規模農家等の農地を利用権設定により認定農業者等の担い手に集積し、農地の有効利用と経営規模の拡大を図るため今後も継続する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	利用権設定の件数	138%	129%	132%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農地の流動化を促進し、担い手への利用集積を図るため、市として継続的に取り組む必要があるため妥当と考える。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	農地利用集積推進員を通じて、農地の貸借の掘り起しを図ることにより、利用権設定の促進につながっており有効と考える。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域の実情に詳しい農地利用集積推進員を設置することにより、農地の所有者、利用者の要望にあった利用権の設定促進が図られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	小規模農家等の農地を利用権設定することにより、認定農業者等の担い手に農地が集積され、農地の有効利用と経営規模の拡大を図るものであり、また、全地域が対象となる事業であるため適切であると考えます。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	小規模農家等の農地を利用権設定することにより、認定農業者等の担い手に農地が集積され、農地の有効利用と経営規模の拡大を図るものであり、今後も継続する必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002137	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	林業担い手育成事業(福祉向上推進事業)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	林業労働者福祉向上推進事業費補助金			予算事業コード	01-05-02-01-10-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業体
意図 (どのような状態にするために)	林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、林整備の担い手である林業労働者を育成、確保する。
手段 (どうするのか)	(財)鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業(林業労働者の共済年金掛金の一部助成)に要する経費を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	保険料掛金助成	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,860	1,818	1,914	0	1,201	
	直接経費 A	1,110	1,075	1,185	0	1,201	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,110	1,075	1,185	0	1,201	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	加入者数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	人		230	240	240	240	240
	実績			235	233	234	0	0	
(指標の説明) 林業労働者の共済加入者総数									
2		目標			0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3		目標			0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の概要】 林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、林業の発展に資することを目的として林業労働者に対する共済事業を行うため、鳥取県林業担い手育成財団が設立され、鳥取県、市町村が助成をしながら林業労働者の共済事業を行っているもの。</p> <p>【事業の成果】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため(財)鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業(林業労働者の共済年金掛金の一部助成)に要する経費を助成する。 ≪事業の内容・実績(過去3年)≫ 事業主体 (財)鳥取県林業担い手育成財団 事業費 1,208千円 負担区分 市町村 4/10 (県 4/10) (林業団体等 2/10)</p> <p>事業の実績 平成22年度 1,005千円 平成23年度 1,111千円 平成24年度 1,076千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	加入者数	102%	97%	98%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	林業労働者を育成確保するため、県と強調・助成しており市としての一部負担は妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	共済年金掛金の一部を助成することで、林業労働者の生活安定に寄与している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県との協調助成のため、低い費用負担での効果が期待できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	県との協調助成のため、低い費用負担での効果が期待できる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	継続して実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002142	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	林業担い手育成事業(雇用条件改善事業)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の目 施策の目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	林業労働者雇用条件改善事業費補助金			予算事業コード	01-05-02-01-16-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	林業労働者、林業事業体
意図 (どのような状態 にするために)	雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進する。
手段 (どうするのか)	市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対し経費の一部を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 保険料掛金助成	平成24年度 保険料掛金助成	平成25年度 保険料掛金助成	平成26年度 保険料掛金助成	平成27年度 保険料掛金助成	
	年度別実績	保険料掛金助成 対象:3事業所、29人	保険料掛金助成 対象:4事業所、26人	保険料掛金助成 対象:4事業所、28人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,246	4,713	5,701	0	4,607	
	直接経費 A	4,496	3,970	4,972	0	4,607	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,248	1,985	2,486	0	2,303
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,248	1,985	2,486	0	2,304	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		助成する対象者人数	人	目標	30	30	28	28	28
	(指標の説明) 林業担い手新規雇用者人数	実績	29	26	28	0	0		
2		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		
3		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 林業労働者の高齢化により、担い手不足が進んでいる。</p> <p>【事業の目的及び効】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金(農林年金)の事業主負担に対し経費の一部を助成する。</p> <p>【事業の内容・実績】 (事業の内容) 健康保険・農林年金に係る負担補助 (事業主体) 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、ウッズマン合同会社</p> <p>補助対象者 30人 補助対象事業費 10,619千円 補助率 県 1/4 (2,654千円) 市 1/4 (2,655千円) (事業主体 1/2)</p> <p>(事業の実績 市負担分) 平成22年度 2,272千円 31人 平成23年度 2,249千円 29人 平成24年度 1,985千円 26人 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施</p> <p>【今後の取り組み】 継続して実施</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	助成する対象者人数	97%	87%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	林業労働者を育成確保するため県と強調・助成しており、市として一部負担することは妥当。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	健康保険、年金の事業主負担の一部を助成することで、林業労働者の雇用条件改善に寄与している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県との協調助成のため、低い費用での効果が期待できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	林業労働者全般に寄与するものであり、林業事業体の負担割合は他事業と比較しても適正。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	継続して実施。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002188	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業担い手育成事業(雇用促進)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	漁業雇用促進対策事業費			予算事業コード	01-05-03-02-33-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	新規漁船員を雇用し、研修生として漁労技術の指導を行う漁業者等。
意図 (どのような状態にするために)	漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者を雇用し、漁労技術等の研修を実施することにより、新規就労者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。
手段 (どうするのか)	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	平成24年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	平成25年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	平成26年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	平成27年度 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。	
	年度別実績	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。 研修生 11名	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。 研修生 9名	新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成する。 研修生 10名			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	11,316	12,890	9,153	0	9,428	
	直接経費 A	9,817	11,405	7,696	0	9,428	
	直接経費の財源内訳	国・県	9,605	10,678	6,939	0	9,258
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	212	727	757	0	170	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	助成する対象者人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			人	目標	1	1	5	5	5	
			実績	11	9	10	0	0		
	(指標の説明) 新規漁船員(研修生)雇用者数									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【事業の概要】 漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者を雇用し、漁労技術等の研修(最大12ヶ月)を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。</p> <p>【事業の成果】 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成した。 平成23年度 11名 平成24年度 9名 平成25年度 10名</p> <p>【今後の課題・方向性】 新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も事業を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	助成する対象者人数	1100%	900%	200%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図っており妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新規就業希望者の漁業技術習得研修であり有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	雇用者(漁業者)と1対1で研修をしており効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	漁業未経験者が対象であり公平性を確保している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も事業を継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002189	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業担い手育成事業(担い手育成)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	漁業担い手育成研修事業費補助金			予算事業コード	01-05-03-02-33-06

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	漁業の担い手育成研修を実施する漁業協同組合に対して、担い手研修に必要な経費（指導料、漁業作業演習費）を助成する。
意図 (どのような状態にするために)	漁業就業者の減少と高齢化の進行による沿岸漁業の衰退を防ぎ、若年層の漁業への新規参入を促進し、漁業の健全な発展及び漁業生産力の増大を図る。
手段 (どうするのか)	漁業就業者の確保を目的とし、漁業の専門経営を目指す50歳未満の漁業未経験者に対し、就労に必要な専門的技術、知識の取得を図るための指導に必要な経費に対し助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 指導料、漁業作業演習費	平成24年度 指導料、漁業作業演習費	平成25年度 指導料、漁業作業演習費	平成26年度 指導料、漁業作業演習費	平成27年度 指導料、漁業作業演習費	
	年度別実績	研修生 4名	研修生 4名	研修生 1名			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,106	1,041	729	0	1,164	
	直接経費 A	1,356	298	0	0	1,164	
	直接経費の財源内訳	国・県	678	149	0	0	582
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	678	149	0	0	582	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	研修人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			人	目標	1	1	2	2	2	
			実績	4	4	1	0	0		
	(指標の説明) 助成事業による新規の漁業作業研修者人数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【事業の概要】 漁獲量の減少、魚価の低迷により漁業経営は厳しい状況であるが、漁業担い手を育成することにより水産業の振興を図る。</p> <p>【事業の成果】 漁業就業に必要な専門的な技術、知識の習得を図るための研修を実施し、漁業の担い手育成を図る。 平成23年度 4名 平成24年度 4名 平成25年度 1名</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市における水産業の振興のため、県と連携し事業を継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	研修人数	400%	400%	50%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	新規漁業者の円滑な確保に役立っており妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新規漁業者の漁業技術等習得研修であり有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指導者(漁業者)と1対1で研修を実施しており効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	沿岸漁業者への新規就労希望者を対象としており公平性を確保している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	新規漁業就労者を円滑に確保し水産業を振興するため、今後も事業を継続する。		
担当課長の評価コメント			

事務事業評価シート

事務事業コード	002167	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業振興事業(淡水魚放流)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	淡水魚放流事業費			予算事業コード	01-05-03-02-01-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	淡水魚放流事業を実施する千代川漁業協同組合
意図 (どのような状態 にするために)	千代川水系に稚鮎等を放流することにより、水産資源の増殖を行い、漁業者の所得の向上等を実現し、内水面漁業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	稚鮎等を放流する千代川漁業協同組合に補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	稚鮎放流	稚鮎放流	稚鮎放流 溪流魚放流	稚鮎放流 溪流魚放流	稚鮎放流 溪流魚放流	
	年度別実績	稚鮎放流 4,490kg	稚鮎放流 4,220kg	稚鮎放流 3,830kg			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	13,892	13,695	12,691	0	12,822	
	直接経費 A	13,142	12,952	11,962	0	12,822	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	6,440	6,345	5,850	0	6,280
	一般財源	6,702	6,607	6,112	0	6,542	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	放流量	t	目標	4	4	4	4	4
				実績	4.49	4.22	3.83	0	0
	(指標の説明) アユ放流量								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【事業の概要】 水産資源の再生産及び鮎の天然遡上の増大を図る事業に対して助成する。</p> <p>【事業の成果】 稚鮎の放流 平成23年度 4,490kg 平成24年度 4,220kg 平成25年度 3,830kg</p> <p>【今後の課題・方向性】 千代川流域の内水面漁業振興、地域振興のため事業を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	放流量	112%	106%	96%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	内水面漁業の振興を図るためには、重要な要素である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	変動の激しい天然資源に比べると、放流は安定しており有効な手段である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域を分けて計画的に放流しているため効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	千代川水系の水産資源保護を実施するための事業であり公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	千代川流域の内水面漁業振興、地域振興のため事業を継続する。 今後、魚道改修により天然遡上が回復すれば、漁協と縮小に向けた協議を進める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002179	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業振興事業(稚貝放流)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	稚貝放流事業補助金			予算事業コード	01-05-03-02-22-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	稚貝放流を実施する鳥取県漁業協同組合
意図 (どのような状態にするために)	稚貝等を放流することにより水産資源の維持増殖を図り水産業の発展に寄与する。
手段 (どうするのか)	稚貝放流を実施する鳥取県漁業協同組合に対して稚貝購入経費を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	稚貝放流	稚貝放流	稚貝放流	稚貝放流	稚貝放流	
	年度別実績	稚貝放流 サザエ 53,000個 アワビ 26,500個 イワガキ 1,200個 パイ 21,300個	稚貝放流 サザエ 51,000個 アワビ 26,500個	稚貝放流 サザエ 51,000個 アワビ 26,500個 イワガキ 1,000個 パイ 30,000個			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,510	1,430	1,529	0	801	
	直接経費 A	760	687	800	0	801	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	760	687	800	0	801
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	放流量	千個	目標	0	0	100	100	100	
				実績	0	0	108.5	0	0	
	(指標の説明) 稚貝放流量									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236
	【9次総の施策体系】5101
	【事業の概要】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、稚貝等を放流し漁獲量の増加を図る。
	【事業の成果】 天然資源が減少する中、放流事業により資源量の確保を図っている。 稚貝放流個数 サザエ アワビ バイ イワガキ 平成23年度 53,000個 26,500個 21,300個 1,200個 平成24年度 51,000個 26,500個 - - 平成25年度 51,000個 26,500個 30,000個 1,000個
	【今後の課題・方向性】 漁場再生・漁業振興のため県と連携し事業を継続する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	放流量			109%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	天然資源が減少している中、放流事業は重要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	稚貝放流を実施することにより漁獲量が安定している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	専門家による放流指導を行っており、放流の効果は高い。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	漁業権のある鳥取県漁業協同組合から聞き取りを行い放流量を決定しているため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後とも漁場再生・漁業振興のため県と連携し事業を継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002186	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁業振興事業(漁業振興対策)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	漁業振興対策事業費補助金			予算事業コード	01-05-03-02-33-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山池漁業協同組合又は千代川漁業協同組合
意図 (どのような状態にするために)	内水面漁業における魚種苗放流事業等を行い水産資源を維持増殖し本市水産業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	内水面漁業協同組合が実施する魚種苗放流事業の費用や組合の活動の支援を行うことにより水産資源の維持増殖による水産業の振興及び市民のレクリエーション機会の増大に寄与する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	稚魚放流等	稚魚放流等	稚魚放流等	稚魚放流等	稚魚放流等	
	年度別実績	稚魚放流等 アマサギ卵 1000万粒 ウナギ稚魚 30kg シジミ 300kg	稚魚放流等 アマサギ卵 500万粒 ウナギ稚魚 30kg シジミ 430kg	稚魚放流等 アマサギ卵 500万粒 ウナギ稚魚 30kg			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,350	1,343	1,317	0	600	
	直接経費 A	600	600	588	0	600	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	600	600	588	0	600	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	放流量	kg	目標	330	300	300	300	300
				実績	330	460	30	0	0
	(指標の説明) 魚類放流量								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】 水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の概要】 内水面漁業協同組合が実施する魚種苗放流事業の費用や組合の活動の支援を行うことにより水産資源の維持増殖による水産業の振興及び市民のレクリエーション機会の増大に寄与する。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">ウナギ放流</td> <td style="text-align: center;">シジミ放流</td> <td style="text-align: center;">アマサギ放流</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成23年度</td> <td style="text-align: center;">30kg</td> <td style="text-align: center;">300kg</td> <td style="text-align: center;">1,000万粒</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成24年度</td> <td style="text-align: center;">30kg</td> <td style="text-align: center;">430kg</td> <td style="text-align: center;">500万粒</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成25年度</td> <td style="text-align: center;">30kg</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">500万粒</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 湖山池における水産業振興及び市民に湖山池を楽しんでもらうため事業を継続する。</p>		ウナギ放流	シジミ放流	アマサギ放流	平成23年度	30kg	300kg	1,000万粒	平成24年度	30kg	430kg	500万粒	平成25年度	30kg	-	500万粒
		ウナギ放流	シジミ放流	アマサギ放流													
平成23年度	30kg	300kg	1,000万粒														
平成24年度	30kg	430kg	500万粒														
平成25年度	30kg	-	500万粒														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	放流量	100%	153%	10%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	内水面漁業の水産資源の維持増殖に寄与している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	魚種苗を放流することは、水産資源の維持増殖に有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	魚種苗を放流することにより、効率的に水産資源の維持増殖を図っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	漁業協同組合への支援であり公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	湖山池における水産業の振興と併せて市民に湖山池を楽しんでもらうため事業を継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002061	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池等整備事業(山上・水根地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	山上・水根地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-22

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 整備計画策定(山上・水根地区)	平成24年度 測量、地質調査	平成25年度 工事用道路設置	平成26年度 ため池改修工事1箇所	平成27年度 ため池改修工事1箇所	
	年度別実績	整備計画策定(山上・水根地区)	測量、地質調査	馬場堤工事用道路設置			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,754	743	3,368	0	5,978	
	直接経費 A	2,004	0	2,639	0	5,978	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	1,700	0	4,700
		その他	0	0	330	0	747
		一般財源	2,004	0	609	0	531
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		整備済ため池数	箇所	目標	0	0	0	1	1	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) ため池等整備事業により工事完了したため池数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P199(農097) 2月補正予算</p> <p>【事業の概要】 山上・水根地区地域ため池総合整備事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成24年度～平成28年度 ・事業箇所 河原町山上地区：馬場堤 河原町水根地区：湯坂谷池 ・総事業費 143,000,000円 ・負担区分 国55% 県29% 市14%(起債充当率90%) 地元2% ・事業内容 ため池改修2箇所 ・受益戸数 74戸(馬場堤：73戸、湯坂谷池31戸) ・受益面積 16ha(馬場堤：15ha、湯坂谷池：7ha) <平成25年度> ・事業費 12,196千円 ・事業内容 馬場堤ため池改修1箇所(工事用道路布設)</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 2,004千円(事業調査費負担金) 平成24年度 2,640千円(市負担金) 調査業務</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備済ため池数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	計画に沿った実施が行われている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	防災事業の一環としても必要であり今後も継続すべき。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県営事業の実施であり効率的と思われる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	多面的な効果を持つ事業のため県営にて実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	県計画に沿って平成28年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002062	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池等整備事業(鹿野・今市地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成27年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-23

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 整備計画策定(鹿野・今市地区)	平成24年度 測量と地質調査、登記	平成25年度 ため池改修工事1箇所	平成26年度 ため池改修工事1箇所	平成27年度 ため池改修工事1箇所	
	年度別実績	整備計画策定(鹿野・今市地区)	測量と地質調査、登記	ため池(馬ノ池)改修工事、登記			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,862	743	11,582	0	7,360	
	直接経費 A	2,112	0	10,853	0	7,360	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	8,500	0	5,700
		その他	0	0	1,357	0	920
		一般財源	2,112	0	996	0	740
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		整備済ため池数	箇所	目標	0	0	0	1	1	
			実績	0	0	1	0	0		
	(指標の説明) ため池等整備事業により工事完了したため池数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P199(農098) 2月補正</p> <p>【事業の概要】 鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成24～27年度 ・事業箇所 鹿野町鹿野地区：糸録池 鹿野町今市地区：馬ノ池 ・事業費 162,000千円 ・負担区分 国55% 県29% 市14% 地元2% ・事業内容 ため池改修2箇所(糸録池・馬ノ池) ・受益 戸数：82戸(糸録池33戸、馬ノ池49戸) 面積：40ha(糸録池17ha、馬ノ池23ha)</p> <p><平成25年度> ・事業費 67,287千円 ・事業内容 馬ノ池ため池改修1箇所</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 2,112千円(事業調査費負担金) 平成24年度 10,853千円(市負担金) 馬ノ池 測量、地質調査</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備済ため池数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	計画に沿った実施が行われている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	防災事業の一環としても必要であり今後も継続すべき。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県営事業の実施であり効率的と思われる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	多面的な効果を持つ事業のため県営にて実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	県計画に沿って平成27年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003013	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池等整備事業(河原町三谷地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	河原町三谷地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-25

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		整備計画策定(河原町三谷地区)	実施設計、土質調査	ため池改修工事1箇所	ため池改修工事1箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	3,531	0	8,053	
	直接経費 A	0	0	2,802	0	8,053	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	2,200	0	6,300
		その他	0	0	350	0	1,007
		一般財源	0	0	252	0	746
人件費 B	0	0	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		整備済ため池数	箇所	目標	0	0	0	1	1	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) ため池等整備事業により工事完了したため池数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 基盤整理係 0857-20-3244
	【9次総の施策体系】 5101
	【予算計上の経過】 当初予算・P200(農100) 2月補正予算
	【事業の概要】 三谷地区地域ため池総合整備事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成25年度～平成28年度 ・河原町三谷地区：追作堤、古池 ・事業費 171,000,000円 ・負担区分 国55% 県29% 市14%(起債充当率90%) 地元2% ・事業内容 ため池改修2箇所 ・ハザードマップ作成2箇所 <平成25年度> ・事業費 17,516千円 ・事業内容：ため池(追作堤)測量設計 地質調査
	【事業の成果】 平成24年度 1,587千円(事業調査費負担金)
【今後の課題・方向性】 継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備済ため池数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	計画に沿った実施が行われている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	防災事業の一環としても必要であり今後も継続すべき。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県営事業の実施であり効率的と思われる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	多面的な効果を持つ事業のため県営にて実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化	<input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	県計画に沿って平成28年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。		

事務事業評価シート

事務事業コード	003014	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ため池等整備事業(因幡白兔地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成24年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	地域ため池総合整備事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	因幡白兔地区地域ため池総合整備事業費			予算事業コード	01-05-01-05-04-26

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用ため池
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用ため池の改修整備を行い、農業者の減少・高齢化等により支障を来している日常の維持管理の省力化を図るとともに、万が一の決壊を回避し、地域住民の安心・安全な生活環境確保と農地、農業用施設等の被害を未然に防ぐ。
手段 (どうするのか)	県営事業、団体営事業により、農業用ため池の漏水、堤体浸食、取水施設等の老朽箇所等の調査、設計、改修工事等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		整備計画策定(小沢見、白兔地区)	実施設計、土質調査	ため池改修工事1箇所	ため池改修工事1箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	3,125	0	8,800	
	直接経費 A	0	0	2,396	0	8,800	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	1,800	0	6,900
		その他	0	0	300	0	1,100
		一般財源	0	0	296	0	800
人件費 B	0	0	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	整備済ため池数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			箇所	目標	0	0	0	1	1	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) ため池等整備事業により工事完了したため池数									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P201(農101)2月補正予算</p> <p>【事業の概要】 因幡白兔地区地域ため池総合整備事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成25年度～平成28年度 ・事業箇所 小沢見(堂出池)、白兔(三反田池)、御熊(岡ノ谷溜池) ・事業費 184,000千円 ・負担区分 国55% 県29% 市14%(起債充当率90%) 地元2% ・事業内容 ため池改修2箇所(三反田池、堂出池) ハザードマップ作成3箇所(三反田池、堂出池、岡ノ谷溜池)</p> <p><平成25年度> ・事業費 14,976千円 ・事業内容 [三反田池] ため池改修1箇所、実施設計1式他</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 1,746千円(事業調査費負担金)</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	整備済ため池数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	計画に沿った実施が行われている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	防災事業の一環としても必要であり今後も継続すべき。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県営事業の実施であり効率的と思われる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	多面的な効果を持つ事業のため県営にて実施。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	県計画に沿って平成28年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003015	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農業水利施設保全合理化事業(大口堰)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成29年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業水利施設保全合理化事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	水利用調整事業(経済対策)			予算事業コード	01-05-01-05-55-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用水利施設
意図 (どのような状態にするために)	大口堰の水利用・水管理の効率化、安全性向上を実現するため。
手段 (どうするのか)	県営事業により、農業用水利施設の老朽箇所等の、設計、改修工事等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			調査	測量設計・改修工事	改修工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,190	0	14,400	
	直接経費 A	0	0	8,190	0	14,400	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	4,095	0	0
		地方債	0	0	4,000	0	12,900
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	95	0	1,500
	人件費 B	0	0	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	%	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				実績	0	0	0	9.6	86.3	
	(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 平成26年度より予算化</p> <p>【事業の概要】 大口堰農業水利施設保全合理化事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成26年度～平成29年度 ・事業箇所 大口堰 ・総事業費 364,000千円 ・負担区分 国50% 県27.5% 市10% (起債充当率90%) 地元12.5% ・事業内容 頭首工 土吐改修 自動転倒ゲート <平成25年度> ・事業内容 事前調査(県にて実施)</p> <p>【事業の成果】 平成26年度より実施設計</p> <p>【今後の課題・方向性】 県の計画に基づき事業実施。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	平成26年度より計画通り実施する。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	平成26年度より計画通り実施する。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	平成26年度より計画通り実施する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	平成26年度より計画通り実施する。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	県計画に沿って平成29年度までの期間で事業を実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003016	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農業水利施設保全合理化事業(今在家地区)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業水利施設保全合理化事業実施要綱等
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用水利施設
意図 (どのような状態にするために)	農業用水利施設(樋門、用水路等)の改修整備を行い、農地を保全し水利利用の合理化、水利用・水管理の省力化を行う。また担い手への農地の集積を促進する。
手段 (どうするのか)	県営事業により、農業用水利施設の老朽箇所等の、設計、改修工事等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			基本調査	実施設計	改修工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	15,300	
	直接経費 A	0	0	0	0	15,300	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	6,100
		その他	0	0	0	0	8,500
		一般財源	0	0	0	0	700
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業進捗率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			%	目標	0	0	0	15	57.5
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明) 完成割合。工事・委託等の受注額等/全体事業費							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 平成26年度より予算化</p> <p>【事業の概要】 河原町今在家農業水利施設保全合理化事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成26年度～平成28年度 ・事業箇所 河原町今在家(高瀬堰) ・総事業費 150,000千円 ・負担区分 国55% 県27.5% 市10% (起債充当率90%) 地元7.5% ・事業内容 樋門改修 <平成25年度> ・事業内容 事前調査(県にて実施)</p> <p>【事業の成果】 平成26年度より実施設計</p> <p>【今後の課題・方向性】 県の計画に基づき事業実施。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	平成26年度より計画通り実施する。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	平成26年度より計画通り実施する。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	平成26年度より計画通り実施する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	平成26年度より計画通り実施する。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	県計画に沿って平成28年度までの期間で事業を実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003017	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農業基盤整備促進事業		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成27年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	農業基盤整備促進事業実施要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	外部委託
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	農業基盤整備促進事業費			予算事業コード	01-05-01-05-56-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	農業用排水路、樋門
意図 (どのような状態にするために)	老朽化した農業用水路のきめ細かな整備、また樋門の整備等をとおして水管理の省力化、効率化、合理化を図る。またこれらにより生産性の向上、高収益作物の作付けを促し、もって農地集積率の向上、農業競争力を強化する。
手段 (どうするのか)	改修の必要に応じて施設整備工事を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			用排水路工事2箇所	用排水路工事9箇所	用排水路工事4箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	16,814	0	4,500	
	直接経費 A	0	0	9,529	0	4,500	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	5,769	0	3,038
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	912	0	787
		一般財源	0	0	2,848	0	675
	人件費 B	0	0	7,285	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	整備済農業用施設	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			箇所	目標	0	0	12	9	4
			実績	0	0	2	0	0	
		(指標の説明) 農業用施設等整備事業により工事完了した農業用施設等の箇所数							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 6月補正予算・P22(農013) 2月補正予算</p> <p>【事業の概要】 ・H25事業費 4,498千円 〈6法地域〉負担区分 国55% 県15% 地元15% 市15% ・国府麻生地区 用排水路整備工事 L=90m 1,606千円 〈6法地域以外〉負担区分 国50% 県15% 地元20% 市15% ・良田地区 排水路整備工事 L=120m 2,892千円</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 42,822千円 用排水工事5箇所 換地業務1箇所 転倒ゲート1箇所 測量設計1箇所</p> <p>【今後の課題・方向性】 市内全域の農業施設の老朽化は激しく、一部農業活動に支障が出ている箇所もある。水路については農業に必須の水を確保するために必要な施設であり、今後も老朽化箇所の改修を継続してゆくことが必要。実施箇所を検討しながら、農業基盤の整備により農業生産活動の安定を図ってゆく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備済農業用施設			17%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	老朽化が進む農業基盤の整備は必須であり、地元からの要望により順次実施してゆく必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	農業用排水路や農道の整備により安定した農業の助けとなっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	老朽化の激しい部分を重点的に改修することにより施設の延命化につながる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象施設の受益者を特定することで適正な事業実施となっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地元からの要望を受けて今後の実施箇所を検討し、農業基盤の整備により農業生産活動の安定を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002112	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中山間地域等直接支払事業(推進事務)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 平成26年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	中山間地域等直接支払交付金実施要領
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	中山間地域等直接支払事業費			予算事業コード	01-05-01-06-04-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中山間地域等において集落協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う集落協定及び農業者の指導に係る市(農業振興課及び総合支所産業建設課)の推進事務費
意図 (どのような状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> 事務消耗品の購入や書類作成送付等にかかる(消耗品費、印刷製本費、通信運搬費) 現地確認の際に必要な(燃料費、車両リース料) 事務に使用する端末リース料 説明会を開催する際の会場借り上げ料 等
手段 (どうするのか)	業者との契約、請求に基づき支払を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 集落協定に対する指導 ・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成24年度 集落協定に対する指導 ・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成25年度 集落協定に対する指導 ・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成26年度 集落協定に対する指導 ・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成27年度	
	年度別実績	集落協定に対する指導 ・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	集落協定に対する指導 ・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	集落協定に対する指導 ・助言、協定内容の確認及び交付金の交付			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,198	1,909	1,729	0	0	
	直接経費 A	1,448	1,166	1,000	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,166	1,166	1,000	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	220	0	0	0	0
		一般財源	62	0	0	0	0
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	協定数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			協定	目標	141	141	142	142	0	
				実績	142	142	142	0	0	
	(指標の説明) 取り組み団体の協定数									
	2	対象農用地面積	ha	目標	752.4	752.4	774	774	0	
				実績	768	774	0	0	0	
(指標の説明) 対象農用地の保全面積										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 総務経営係 0857-20-3241</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 8月補正予算・P25(農014) 2月補正予算</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 集落説明会の開催 2 集落協定(個別協定)実施指導 3 対象農用地及び農業生産活動の実施確認事務等 4 協定の目標達成確認 <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 1,000千円 ・負担区分 国100% <p>H25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会対象集落-142集落 ・集落協定締結-142協定(うち個別協定1協定) ・確認事務-142協定 <p>【事業の成果】</p> <p>平成22年度 1,310千円 平成23年度 1,216千円 平成24年度 1,166千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>3期対策最終年となるH26年度にて事業完了となる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	協定数	101%	101%	100%		
	2	対象農用地面積	102%	102%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	推進に必要な事務経費である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	円滑な交付金事務処理のために必要。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	円滑な交付金事務が行われている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象組織すべてに対し説明等を実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	3期対策の最終年である平成26年度まで農地を守るための活動を同規模で継続してゆく必要があり、そのための事務も継続する必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002113	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中山間地域等直接支払事業(交付金)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 平成26年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	中山間地域等直接支払交付金実施要領
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	中山間地域等直接支払交付金			予算事業コード	01-05-01-06-04-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中山間地域等において集落協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う集落協定に交付する交付金
意図 (どのような状態にするために)	条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払いを実施することにより、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。
手段 (どうするのか)	協定の締結、履行確認、交付金の交付などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成24年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成25年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成26年度 集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付	平成27年度	
	年度別実績			集落協定に対する指導・助言、協定内容の確認及び交付金の交付			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	110,708	111,914	115,270	0	0	
	直接経費 A	110,708	111,914	111,627	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	81,627	82,190	82,295	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	427	0	0	0
		一般財源	29,081	29,297	29,332	0	0
人件費 B	0	0	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	協定数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			協定	目標	0	0	142	142	0	
			実績	0	0	142	0	0		
	(指標の説明) 取り組み団体の協定数									
	2	対象農用地面積	ha	目標	0	0	774	778	0	
				実績	0	0	775	0	0	
(指標の説明) 対象農用地の保全面積										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】当初予算・P206(農112)8月補正予算・P25(農013)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払を実施することで、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。</p> <p>(1) 対象地域 特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地(田1/20以上、畑15度以上)及び急傾斜に物理的に連担する緩傾斜(田1/20未満1/100以上、畑15度未満8度以上)で面的まとまりのある農用地等。</p> <p>(2) 対象者 集落協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う農業者。</p> <p>(3) 単価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田 急傾斜→(10割) 21,000円/10a (8割) 16,800円/10a ・田 緩傾斜→(10割) 8,000円/10a (8割) 6,400円/10a ・畑 急傾斜→(10割) 11,500円/10a (8割) 9,200円/10a ・畑 緩傾斜→(10割) 3,500円/10a (8割) 2,800円/10a <p>(4) 事業実施期間 平成22年度～平成26年度(第3期)</p> <p>(5) 事業費 111,626,803円(平成25年度)</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H22 → 協定数 141協定 面積 7,523,539㎡ 交付金 108,274,019円 ・H23 → 協定数 142協定 面積 7,676,828㎡ 交付金 110,708,172円 ・H24 → 協定数 142協定 面積 7,742,455㎡ 交付金 111,486,425円 <p>【今後の課題・方向性】 継続して事業を実施して引き続き保全される協定農用地面積の維持を目指す。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	協定数			100%		
	2	対象農用地面積			100%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中山間地域の農地・農業環境の維持に貢献。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中山間地域の耕作放棄防止につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	中山間地域集落が農地環境整備を行う助けになっている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業目的である中山間地域を対象に交付されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	第3期対策の最終年である平成26年度まで農地維持管理を現状の規模で実施してゆく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002102	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業(共同活動支援)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	経営所得安定対策等大綱、経営所得安定対策等実施要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	共同活動支援交付金			予算事業コード	01-05-01-05-45-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域の農業者だけでなく、地域住民や都市住民を含めた多様な主体の参画を得た後に、市と協定を締結した活動組織
意図 (どのような状態にするために)	高齢化や過疎化によって、維持・保安全管理が難しくなっている農地や水路・農地などの農業用施設を保安全管理する共同活動や、集落周辺の環境・景観の保全活動の推進を容易にする
手段 (どうするのか)	協定の締結、履行確認、交付金の交付などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	協定の締結 履行確認 交付金の交付	協定の締結 履行確認 交付金の交付	協定の締結 履行確認 交付金の交付	協定の締結 履行確認 交付金の交付	協定の締結 履行確認 交付金の交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	25,631	22,152	4,007	0	72,386	
	直接経費 A	21,508	18,068	0	0	72,386	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	54,289
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	21,508	18,068	0	0	18,097	
人件費 B	4,123	4,084	4,007	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.55	0.55	0.55	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	取り組み組織数	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			目標	組織		104	114	103	105	105	
	実績			104	103	102	0	0			
	(指標の説明) 共同活動支援に取り組んだ活動組織数										
	2			目標			0	0	0	0	0
				実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)											
3			目標			0	0	0	0	0	
			実績			0	0	0	0	0	
(指標の説明)											

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】当初予算・P205(農110)2月補正予算</p> <p>【事業の概要】 農業用施設の適切な保全管理や環境・景観の保全活動を支援することにより、施設の延命化、地域環境の向上を図るとともに、地域コミュニティの向上を図る。 <平成25年度> ・事業費 17,237千円(市分) (102組織 田193,140a 畑20,391a 草地179a) ・負担区分 国50% 県25% 市25% ・事業内容 農地・農業用水等の保全向上に関する地域ぐるみで行われる効果の高い共同活動に対する支援。</p> <p>【事業の成果】 平成22年度 22,177千円 104組織 平成23年度 21,508千円 104組織 平成24年度 18,068千円 103組織</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度より多面的機能支払事業に移行</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	取り組み組織数	100%	90%	99%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農業環境保全活動に役立っている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	農業環境の維持につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	農業だけでなく環境の保全にも効果がある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	農業事業者を対象にしており適切。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成26年度より多面的機能支払事業へ移行のため事業終了。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002441	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業(向上活動支援)		所属名	農林水産部 農村整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成28年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	経営所得安定対策等大綱、経営所得安定対策等実施要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	向上活動支援交付金			予算事業コード	01-05-01-05-45-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域の農業者だけでなく、地域住民や都市住民を含めた多様な主体の参画を得た後に、市と協定を締結した活動組織
意図 (どのような状態にするために)	老朽化の進む農業用水路や農道及び農業用ため池等の施設について、補修や更新（一部改良含む。）を実施することにより、農業用施設の長寿命化を図る。
手段 (どうするのか)	協定の締結、履行確認、交付金の交付などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	協定の締結 履行確認 交付金の交付	協定の締結 履行確認 交付金の交付	協定の締結 履行確認 交付金の交付	協定の締結 履行確認 交付金の交付	協定の締結 履行確認 交付金の交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	20,047	22,103	2,186	0	86,476	
	直接経費 A	17,798	19,875	0	0	86,476	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	64,859
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	17,798	19,875	0	0	21,617	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		取り組み組織数	組織	目標	124	125	97	98	99
	(指標の説明)		実績	92	97	97	0	0	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 総務経営係 0857-20-3241</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P206 (農112) 2月補正予算</p> <p>【事業の概要】 用排水路、樋門等の整備をすることにより十分な農業用水の確保、維持管理の省力化が達成される。これにより効率的、かつ安定的な農業経営と農業基盤の充実に資する。 <平成25年度> ・事業費 20,255千円(市分) (97組織 田 176,824a 畑 18,017a 草地 179a) ・負担区分 国 50% 県 25% 市 25% ・事業内容 農地・農業用水等の資源の日常の保全管理に加え、集落の手による農地周りの水路、農道等の長寿命化(補修・更新)の対策に取組む集落を支援する。</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 17,798千円 92組織 平成24年度 19,876千円 97組織</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度より多面的機能支払事業へ移行</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	取り組み組織数	74%	78%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	農業施設の維持修繕のために支出。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	農業施設の長寿命化に寄与している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	農業施設が長寿命化されることで、農業生産活動の助けとなる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	施設の存する地域の農業事業者に対して支出されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成26年度より多面的機能支払事業に移行のため終了。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001967	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	耕作放棄地再生推進事業		所属名	農業委員会事務局 農業委員会事務局

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 平成30年度
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	耕作放棄地解消支援ガイドライン
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	耕作放棄地再生推進事業費			予算事業コード	01-05-01-01-03-10

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	貸借等により耕作放棄地を解消しようとする農業者・団体
意図 (どのような状態にするために)	農業生産の基盤である農地の確保及びその有効利用を図る。
手段 (どうするのか)	耕作放棄地を再生利用する取り組みやこれに付帯する施設等の整備に対して助成し、農地再生に係る引き受け手の初期投資の軽減を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・再生利用のための検討会開催 ・制度・施策の啓発・普及 ・再生利用活動・施設等補完整備に対する支援	平成24年度 ・再生利用のための検討会開催 ・制度・施策の啓発・普及 ・再生利用活動・施設等補完整備に対する支援	平成25年度 ・制度・施策の啓発・普及 ・再生利用活動・施設等補完整備に対する支援	平成26年度 ・制度・施策の啓発・普及 ・再生利用活動・施設等補完整備に対する支援	平成27年度 ・制度・施策の啓発・普及 ・再生利用活動・施設等補完整備に対する支援
	年度別実績	・再生利用のための検討会開催 ・制度・施策の啓発・普及 ・再生利用活動・施設等補完整備に対する支援	・再生利用のための検討会開催 ・制度・施策の啓発・普及 ・再生利用活動・施設等補完整備に対する支援	・再生利用のための検討会開催 ・制度・施策の啓発・普及 ・再生利用活動・施設等補完整備に対する支援		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	9,599	10,756	9,212	0	2,800
	直接経費 A	2,102	3,330	1,927	0	2,800
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,102	3,330	1,927	0	2,800	
人件費 B	7,497	7,426	7,285	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		解消した耕作放棄地の面積	a	目標	300	500	300	300	300	
			実績	300	617	416	0	0		
	(指標の説明) 助成により再生利用されることになった農地面積									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】農政係 0857-20-3393</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P12(各種012)・2月補正</p> <p>【事業の概要】 耕作放棄地を再生・利用する取り組みやこれに付随する施設の整備等に対し、国の「耕作放棄地再生利用緊急対策事業」と一体的に補助金を交付し、農地の再生・利用するための初期投資の軽減を図る。</p> <p>【事業の成果】 耕作放棄地を再生・利用する取り組みやこれに付随する施設の整備等への支援を行い、耕作放棄地の再生を図った。 再生面積 416a ・再生作業(草刈、抜根等) 14件 ・営農定着(作付等) 4件 ・施設等補完整備(農業用施設、作業道整備等) 3件 《参考》</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>取組主体数</th> <th>再生筆数</th> <th>再生面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23年度</td> <td>15</td> <td>18筆</td> <td>300a</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>14</td> <td>33筆</td> <td>617a</td> </tr> <tr> <td>H25年度</td> <td>17</td> <td>33筆</td> <td>416a</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 国庫補助事業が平成30年度で終了するため、その後の事業展開を検討する必要がある。</p>		取組主体数	再生筆数	再生面積	H23年度	15	18筆	300a	H24年度	14	33筆	617a	H25年度	17	33筆	416a
	取組主体数	再生筆数	再生面積														
H23年度	15	18筆	300a														
H24年度	14	33筆	617a														
H25年度	17	33筆	416a														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	解消した耕作放棄地の面積	100%	123%	139%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	耕作放棄地が増大する現状において、耕作放棄地の解消を目指す取り組みは大変重要であり、妥当であると考える。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	耕作放棄地を再生利用する取り組みやこれに付随する施設等の整備に対して助成することで、耕作放棄地を解消しようとする農業者等の初期投資の軽減が図られており、有効と考える。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国事業と一体的な助成とすることで資源投入が最小限で抑えられていると考えており、効率性が高いと考える。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耕作放棄地を解消しようとする農業者等を対象としており公平であると考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	農業生産の基盤である農地の確保及びその有効利用を図ることで、耕作放棄地の解消を目指す必要があると考えているため継続して実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002153	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	造林事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	造林事業費			予算事業コード	01-05-02-02-05-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林施策がおくられて林地の荒廃が進んでいる森林
意図 (どのような状態にするために)	適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、本市林業の振興を図る。
手段 (どうするのか)	間伐、竹林整備、クヌギ造林などを支援し、森林整備を進める。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	間伐240.8ha 竹林樹種転換51.8ha クヌギ造林2.0ha	間伐240ha 竹林樹種転換55ha クヌギ造林2.5ha	間伐350ha 竹林樹種転換50ha クヌギ造林20ha	間伐450ha 竹林樹種転換50ha クヌギ造林20ha	間伐500ha 竹林樹種転換50ha クヌギ造林20ha	
	年度別実績	間伐 122.45ha 竹林樹種転換 19.79h クヌギ造林 0.18ha	間伐 143.98ha 竹林樹種転換 42.25h クヌギ造林 22.35ha	間伐 161.11ha 竹林樹種転換 25.54h クヌギ造林 27.12ha			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	13,627	21,298	23,189	0	19,623	
	直接経費 A	8,379	16,100	18,089	0	19,623	
	直接経費の財源内訳	国・県	21	0	0	0	0
		地方債	0	6,000	13,700	0	17,100
		その他	0	0	627	0	2,523
一般財源	8,358	10,100	3,762	0	0		
人件費 B	5,248	5,198	5,100	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.70	0.70	0.70	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	間伐面積	ha	目標	240.8	240	350	400	500	
				実績	122.45	143.98	161.11	0	0	
	(指標の説明)									
	2	竹林樹種転換面積	ha	目標	55	60	50	50	50	
				実績	19.79	42.25	25.54	0	0	
	(指標の説明)									
3	クヌギ造林面積	ha	目標	2.5	2.5	20	20	20		
			実績	0.18	22.35	27.12	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 林務係 0857-20-3235	
	【9次総の施策体系】 5101	
	【事業の経過及び背景】 木材価格の低迷、林家の高齢化などにより、適切な森林施業が遅れており、林地の荒廃が進んでいる。	
	【事業の目的及び効果】 適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、もって本市林業の振興を図る。	
	【事業内容・実績】 補助率 間伐(普通林) 10% (保安林) 5% ※地元負担 10% 竹林樹種転換 5% クヌギ造林 10%	
	事業量	間伐(普通林) 80ha 5,594千円 間伐(保安林) 116ha 4,086千円 クヌギ造林 33ha 7,862千円 竹林林種転換 15ha 2,081千円 合計 244ha 19,623千円
	実績(間伐)	平成21年度 間伐 152.40ha 4,638千円 平成22年度 間伐 251.49ha 15,461千円 平成23年度 間伐・竹林林種転換 142.42ha 9,524千円 平成24年度 間伐・竹林林種転換 210.00ha 19,623千円 (見込み)
	【今後の取り組み】 間伐、竹林整備、クヌギ造林などを支援し、森林整備を進める。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	間伐面積	51%	60%	46%		
	2	竹林樹種転換面積	36%	36%	51%		
	3	クヌギ造林面積	7%	894%	136%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	適正に森林を管理。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	鳥取市全体の森林整備に寄与。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	間伐材搬出量の増加。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	森林組合及び林業事業体に補助。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金であり、継続的に補助し、本市林業の振興を図る。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002154	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	間伐搬出支援事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	間伐搬出支援事業費			予算事業コード	01-05-02-02-05-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者・森林組合等。
意図 (どのような状態 にするために)	間伐した木材の搬出を図る。
手段 (どうするのか)	間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 間伐材搬出に係る経費 を助成	平成24年度 間伐材搬出に係る経費 を助成	平成25年度 間伐材搬出に係る経費 を助成	平成26年度 間伐材搬出に係る経費 を助成	平成27年度 間伐材搬出に係る経費 を助成	
	年度別実績	間伐材搬出支援 (7件 8,907m3) 4,453,831円	間伐材搬出支援 (21,327m3) 19,271,780円	間伐材搬出支援 (21,931m3) 21,930,536円			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,953	20,757	23,388	0	8,000	
	直接経費 A	4,454	19,272	21,931	0	8,000	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,454	19,272	21,931	0	8,000	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		搬出量	万m3	目標	1	2	2	2	2	
			実績	0.9	1.9	2.2	0	0		
	(指標の説明) 間伐した木材の搬出量									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	3		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 県産材の有効利用を目的とし、鳥取県の補助金（1 m3あたり3, 5 0 0円）の補助金に嵩上げすることで、森林施業の促進を図る。</p> <p>【事業の目的及び効果】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。</p> <p>【事業の内容・実績】 間伐材搬出支援（間伐材搬出1 m3あたり1,000円を補助） （搬出量）25,854m3×1,000円/m3=（補助金）25,854千円 平成22年度 5, 0 9 0千円 平成23年度 4, 4 5 4千円 平成24年度 1 9, 2 7 2千円</p> <p>【今後の取り組み】 国造林補助金制度が改正され、原則、間伐材の搬出が必要となったため、搬出の支援を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	搬出量	90%	95%	110%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	運搬経費の軽減。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	平成25年度より間伐搬出が必要。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	間伐材搬出に係る経費を助成。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	補助対象者は交付要綱に記載。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成27年度より鳥取県東部にバイオマス事業(チップ工場)が稼働するため、今後も間伐材の需要増が見込まれており、搬出支援の継続は必要。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002155	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	竹林整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	竹林整備事業費			予算事業コード	01-05-02-02-05-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	手つかずの荒廃竹林
意図 (どのような状態にするために)	鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林を適正に管理する。
手段 (どうするのか)	アクセス道整備、抜き伐りなどの取り組みを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 アクセス道整備3000m 抜き伐り28.47ha 皆伐0.5ha	平成24年度 アクセス道整備3000m 抜き伐り28.47ha 皆伐0.5ha	平成25年度 抜き伐り5ha	平成26年度 抜き伐り5ha	平成27年度 抜き伐り5ha	
	年度別実績	抜き伐り 2.57ha	抜き伐り 5.12ha	抜き伐り 4.32ha			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	23,302	29,203	28,432	0	17,000	
	直接経費 A	17,304	23,262	22,604	0	17,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	15,105	22,619	21,296	0	16,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,199	643	1,308	0	1,000
人件費 B	5,998	5,941	5,828	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		抜き伐り	ha	目標	7	7	5	5	5
	実績	2.57	5.12	4.32	0	0			
(指標の説明) 竹林の抜き伐り等を実施									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の背景・目的】 拡大する竹対策として、鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。</p> <p>【事業内容・実績】 負担区分 森林環境保全税関連事業 補助率 県 85% 市 5% (※予算の範囲内で抜き伐りのみ対象)</p> <p>事業内容 ○抜き伐り 20,000千円 5.26ha 県17,000千円 市1,000千円</p> <p>事業実績 H21年度 12,343千円 3.04ha (抜き伐り) H22年度 26,861千円 6.99ha (抜き伐り) H23年度 17,223千円 5.05ha (抜き伐り)</p> <p>【今後の取り組み】 継続して実施</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	抜き伐り	37%	73%	86%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	県森林環境保全税と市の高上げを一括して事業主体に補助。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	他事業として林種転換あり。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	協定を締結しているため、(竹林所有者による)施業後5箇年の管理が必要。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象は管理協定締結者。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	竹林の適正な管理のため、継続して支援が必要。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002160	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	作業道整備事業		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の目 施策の目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	森づくり作業道整備事業費			予算事業コード	01-05-02-02-16-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	森林所有者及び森林組合
意図 (どのような状態 にするために)	森林整備に必要な路網の整備を促進する。
手段 (どうするのか)	作業道を整備する事業者へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 作業道の整備に係る経費助成	平成24年度 作業道の整備に係る経費助成	平成25年度 作業道の整備に係る経費助成	平成26年度 作業道の整備に係る経費助成	平成27年度 作業道の整備に係る経費助成	
	年度別実績	作業道の整備。 (8件 26,776m) 5,255,840円	作業道の整備。 (40路線 34,042m) 6,170,000円	作業道の整備。 (30路線 17,641m) 5,857,490円			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,755	7,655	7,314	0	5,892	
	直接経費 A	5,256	6,170	5,857	0	5,892	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,256	6,170	5,857	0	5,892	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	作業道整備	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			km	目標	20	25	34	34	34	
			実績	27	34	18	0	0		
	(指標の説明) 開設した作業道の延長									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 林務係 0857-20-3235</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 国・県の作業道補助事業とあわせて、作業道整備事業に補助を行う。</p> <p>【事業の目的及び効果】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道の整備を促進する。</p> <p>【事業の内容・実績】 (事業の内容) 造林作業道整備の補助金(条件付きで普通林22%、保安林5%を上乗せ) ※国、県の補助と合わせると、補助率90% 作業道整備(普通林) 13,100m 作業道整備(保安林) 29,400m 合計 42,500m (事業の実績) 平成22年度 4,619千円 (30路線 18,382m) 平成23年度 5,256千円 (54路線 26,776m) 平成24年度 8,657千円 (80路線 40,000m) (見込)</p> <p>【今後の取り組み】 国・県の補助事業とあわせて、継続して補助を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	作業道整備	135%	136%	53%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	林業の基盤整備となる事業である
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	間伐、竹林整備の促進につながっている
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県事業と一体的に行うものである
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	不特定多数の森林所有者を対象にしている

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後増大する間伐材を有効に搬出するため、継続して実施する	

事務事業評価シート

事務事業コード	002175	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(福部町漁港)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	福部町漁港施設維持管理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	岩戸漁港の維持管理に関すること
意図 (どのような状態にするために)	漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設の維持管理を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
内容	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	10,200	8,419	7,660	0	4,888	
	直接経費 A	8,701	5,449	4,746	0	4,888	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	1	46	0	0
	一般財源	8,701	5,448	4,700	0	4,888	
人件費 B	1,499	2,970	2,914	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.40	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	出漁日数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			日	目標	50	50	50	50	50
			実績	53	54	63	0	0	
		(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数							
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。</p> <p>【事業の成果】 漁港施設維持管理(修繕費等)1式 岩戸漁港浚渫 1, 420m³</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出漁日数	106%	108%	126%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	第1種漁港の管理者として漁港施設等の維持管理は責務である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	漁港施設の利用者の意見を取り入れながらの維持管理業務であるため有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	漁港施設の利用者の意見を取り入れながらの維持管理業務であるため効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	第1種漁港の管理者としての維持管理業務であるため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も第1種漁港の管理者として適正な維持管理を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002176	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(気高町漁港)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	気高町漁港施設維持管理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	酒津漁港・船磯漁港の維持管理に関すること
意図 (どのような状態にするために)	漁港施設等の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設等の適正な維持管理を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
内容	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	25,917	28,546	21,543	0	17,256	
	直接経費 A	24,418	24,833	17,900	0	17,256	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,611	1,611	3,687	0	0
	一般財源	22,807	23,222	14,213	0	17,256	
人件費 B	1,499	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	出漁日数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			日	目標	150	150	150	150	150
			実績	157	173	168	0	0	
		(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数							
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。</p> <p>【事業の成果】 漁港施設維持管理(修繕費等)1式 酒津漁港浚渫 3,000m³ 船磯漁港浚渫 2,050m³</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出漁日数	105%	115%	112%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	第1種漁港の管理者として漁港施設等の維持管理は責務である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	漁港施設の利用者の意見を取り入れながらの維持管理業務であるため有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	漁港施設の利用者の意見を取り入れながらの維持管理業務であるため効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	第1種漁港の管理者としての維持管理業務であるため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も第1種漁港の管理者として適正な維持管理を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002177	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(青谷町漁港)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	青谷町漁港施設維持管理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	夏泊漁港・長和瀬漁港・青谷漁港の維持管理に関すること
意図 (どのような状態にするために)	漁港施設等の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。
手段 (どうするのか)	第1種漁港の管理者として漁港施設等の適正な維持管理を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	漁港施設等の維持管理	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	18,527	21,203	21,977	0	18,221	
	直接経費 A	17,028	17,490	18,334	0	18,221	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	901	901	889	0	901
	一般財源	16,127	16,589	17,445	0	17,320	
人件費 B	1,499	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	出漁日数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			日	目標	130	130	130	130	130
			実績	138	140	148	0	0	
		(指標の説明) 対象漁港の年間出漁日数							
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。</p> <p>【事業の成果】 漁港施設維持管理(修繕費等)1式 夏泊漁港浚渫 1, 330m³ 長和瀬漁港浚渫 2, 680m³</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出漁日数	106%	108%	114%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	第1種漁港の管理者として漁港施設等の維持管理は責務である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	漁港施設の利用者の意見を取り入れながらの維持管理業務であるため有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	漁港施設の利用者の意見を取り入れながらの維持管理業務であるため効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	第1種漁港の管理者としての維持管理業務であるため公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も第1種漁港の管理者として適正な維持管理を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002178	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	漁港施設維持管理事業(漁港海岸漂着物処理)		所属名	農林水産部 林務水産課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	漁港海岸漂着物処理事業費			予算事業コード	01-05-03-02-21-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	海岸管理者が実施する海岸漂着物等の処理
意図 (どのような状態にするために)	年々増加する海岸漂着ごみを除去することにより海岸の環境を保全する。
手段 (どうするのか)	海岸管理者自らあるいはボランティア等に委託して海岸漂着物を集積し処理する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	海岸漂着物の処理	海岸漂着物の処理	海岸漂着物の処理	海岸漂着物の処理	海岸漂着物の処理	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,302	2,461	3,570	0	983	
	直接経費 A	4,803	976	2,113	0	983	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,802	0	2,113	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1	976	0	0	983
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		ゴミ回収量	m3	目標	300	96	96	96	96	
			実績	262	48	65	0	0		
	(指標の説明) 漂着ゴミ回収量									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【事業の概要】 鳥取市が管理する海岸(漁港海岸)において、漂着したゴミ等(海岸漂着物)を処理し、海岸における良好な景観及び環境を保全するとともに円滑な処理を行い、ゴミ等の発生を抑制する。</p> <p>【事業の成果】 海岸漂着物の集積、処分を行い、海岸環境の保全を図った。 海岸漂着物処分量 ・気高 25m³ ・青谷 40m³</p> <p>【今後の課題・方向性】 漁港海岸の適正な維持管理のため事業を継続する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	ゴミ回収量	87%	50%	68%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	漁港海岸の管理者である鳥取市の関与は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	海岸漂着物を除去することにより、海岸の環境が保全されるため有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	海岸周辺の漁業者や住民が実施しているため効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	海岸部全体が取り組む事業であり公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 漁港海岸の適正な維持管理のため事業を継続する。		

事務事業評価シート

事務事業コード	002017	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民農園設置事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	昭和53年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 種別	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市民農園設置事業費			予算事業コード	01-05-01-03-03-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	遊休農地及び作物の栽培に取り組みたい市民
意図 (どのような状態 にするために)	遊休農地を農園として貸し出すことにより、農地の有効活用と市民の健全なレクリエーション機会の創出と健康増進を図る
手段 (どうするのか)	市内各地に市民農園を開設

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 市民農園の開設	平成24年度 市民農園の開設	平成25年度 市民農園の開設	平成26年度 市民農園の開設	平成27年度 市民農園の開設	
	年度別実績	市民農園の運営・管理を行った。	市民農園の運営・管理を行った。	市民農園の運営・管理を行った。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,911	5,235	5,295	0	1,798	
	直接経費 A	2,162	1,522	1,652	0	1,798	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,362	1,323	1,652	0	1,362
	一般財源	800	199	0	0	436	
人件費 B	3,749	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	利用率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	100	100	100	100	100	
			実績	92.1	91	93.5	0	0		
	(指標の説明) 開設区画数に対する利用率									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P162(農023)</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民農園の開設 里仁地区：S53年度、滝山・叶地区：S63年度、柗宜谷地区：H4年度、 布勢地区：H7年度、湖山地区：H18年度、吉岡地区：H20年度 開設した市民農園の運営・管理 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供するため、鳥取地域7地区(里仁・布勢・滝山・叶・柗宜谷・湖山・吉岡)の農園を希望者に貸し出した。 開設区画数：全494区画(66㎡：158区画、33㎡：336区画) 区画利用率：93.5%(462区画/494区画) <p>【今後の課題・方向性】 新規利用者数を増やし利用率を上げることで、遊休農地を有効活用する必要がある。広報等を利用しながら空区画の情報を広く市民に周知することで、利用率向上を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	利用率	92%	91%	94%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	遊休農地の有効活用や市民のコミュニティーの場の提供が図られており、妥当であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	多くの市民に利用していただいているが、農園によって利用率のばらつきがあるため。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	農園管理作業の効率化を図るため、一部作業を外部委託しており、効率的かつ効果的な管理が図られているため。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取地域7地区に市民農園を開設し、施設整備に合わせた利用料を設定しており、適正であるため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供するため、今後も継続して実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003018	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	有害鳥獣被害対策事業(野生鳥獣)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	イノシシ等被害防止対策事業補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	野生鳥獣被害防止事業費			予算事業コード	01-05-02-01-07-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	有害鳥獣等による農作物被害等への対策支援
意図 (どのような状態にするために)	イノシシ等の被害対策を図ることにより農林水産業者の生産活動や住民の安全な生活が確保できる
手段 (どうするのか)	農作物被害等防止対策として侵入防止柵の設置や有害鳥獣個体減少対策として捕獲奨励金の支給、鳥獣被害対策実施隊による鳥獣出没時の緊急対応を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵) イノシシ等捕獲奨励金 捕獲檻	イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵) イノシシ等捕獲奨励金 捕獲檻	イノシシ侵入防止柵(トタン・ワイヤーメッシュ、電気柵) イノシシ等捕獲奨励金 捕獲檻	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	59,048	0	53,631	
	直接経費 A	0	0	48,120	0	53,631	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	22,332	0	23,064
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	143	0	0
	一般財源	0	0	25,645	0	30,567	
人件費 B	0	0	10,928	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業実施率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	100	100	100	
			実績	0	0	99	0	0		
	(指標の説明) 事業要望団体数に対する実施率									
	2	捕獲率	%	目標	0	0	100	100	100	
				実績	0	0	116	0	0	
(指標の説明) 設定捕獲頭数に対する実捕獲頭数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 鳥獣対策係 0857-20-3233</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>当初予算・P178 (農055)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金を交付することにより、農林業者が安心して農林業の生産活動を行えるようにし、もって本市農林業の振興を図る。</p> <p>①有害鳥獣駆除実施事業費補助金 負担割合 県1/3 市2/3</p> <p>②侵入防止施設整備事業費補助金 負担割合 県1/3 市1/3 (地元1/3)</p> <p style="padding-left: 100px;">※非農家 市1/2 (地元1/2)</p> <p>③イノシシ等捕獲奨励金 負担割合 県1/2 市1/2</p> <p>④免許取得促進事業 負担割合 県1/3 市2/3</p> <p>⑤鳥取市鳥獣害対策協議会支援事業 負担割合市1/3 (国 1/2、地元1/6)</p> <p>⑥イノシシ解体処理施設維持管理費 負担割合 市10/10</p> <p>⑦新規銃砲取得者の育成・確保、捕獲技術の向上対策事業 負担割合 市10/10</p> <p>【事業の成果】</p> <p>①有害鳥獣駆除実施事業費補助金：カラス一斉捕獲 (2回 延べ240人)</p> <p>②侵入防止施設整備事業費補助金：トタン (L=1,102m)、ワイヤーメッシュ (L=23,215m)、電気柵 (L=36,885m)</p> <p>③イノシシ等捕獲奨励金：イノシシ (1,811頭)、シカ (709頭)、アライグマ18頭、ヌートリア (665頭)</p> <p>④免許取得促進事業：新規取得 (9人)、更新 (3人)</p> <p>⑤鳥取市鳥獣害対策協議会支援事業：侵入防止柵整備 (L=10,400m、捕獲檻90基)</p> <p>⑥イノシシ解体処理施設維持管理費：414,876円 (光熱水費、消耗品費、補助金)</p> <p>⑦新規銃砲取得者の育成・確保、捕獲技術の向上対策事業：新規取得 (1人)、技術向上 (60人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 捕獲した獣肉の活用及び流通できるシステムの構築</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業実施率			99%		
	2	捕獲率			116%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥獣被害が引き続き発生しているため事業実施は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	現在実施している対策により被害面積や被害金額が減少しているので有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	補助による資材購入や物品の無償貸与など状況により対応している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	被害防止のため事業主体者は農家、非農家に限定せず対応している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	農林水産業被害等の実態を把握しながら、効率的な取り組みを行っていく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003019	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	有害鳥獣被害対策事業(クマ)		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市クマよけ鈴等購入補助金交付要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	クマ対策事業費			予算事業コード	01-05-02-01-07-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	人里へのツキノワグマの出没による人身事故を防ぐ
意図 (どのような状態にするために)	住民の安全を確保するための対策を講じ、人間とクマの安全な共存を図る
手段 (どうするのか)	クマが人家に近づかないよう追い払い物品の配布や周知看板の設置、出没時の緊急捕獲活動や錯誤捕獲の学習放獣等速やかな対応を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			ツキノワグマ緊急対応体制整備 名 クマ鈴補助 個	ツキノワグマ緊急対応体制整備 名 クマ鈴補助 個	ツキノワグマ緊急対応体制整備 名 クマ鈴補助 個	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	3,725	0	549	
	直接経費 A	0	0	82	0	549	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	56	0	274
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	26	0	275
	人件費 B	0	0	3,643	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	事業実施率	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			%	目標	0	0	100	100	100	
			実績	0	0	12.5	0	0		
	(指標の説明) 事業要望団体数に対する実施率									
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 鳥獣対策係 0857-20-3233
	【9次総の施策体系】 5101
	【予算計上の経過】 当初予算・P178 (農056)
	【事業の概要】 近年、人家近くへのクマ出没が頻発しており、住民の安全を確保するための対策を講じ、人間とクマの安全な共存を図る。また果樹園によるクマ出没被害が頻発しており、農家と農作物の安全を確保するための対策を講ずる。 1. ツキノワグマ緊急対応体制整備 (出没時安全対策) 負担割合 (県1/2 市1/2) (鳥取3名+国府10名+福部3名+河原2名+用瀬4名+佐治4名 計26名) 2. ツキノワグマ注意看板 負担割合 (県1/2 市1/2) (国府6ヶ所、福部2ヶ所、用瀬4ヶ所) 3. クマ追い払い用品負担割合 (県1/2 市1/2) (唐辛子スプレー、ロケット花火、爆竹、ファースト信号機) 4. クマ鈴補助 負担割合 (県1/3 市1/3 地元1/3) (国府、河原、用瀬、佐治) 100個
	【事業の成果】 ・ツキノワグマ注意喚起看板 (H23:12枚、H24:11枚、H25:11枚) ・追払用ロケット花火・スプレー (H23:なし、H24:2個、H25:6組) ・クマ鈴 (H23:96個、H24:102個、H25:なし) ・出没時安全対策警備 (H23:なし、H24:延べ11日、H25:延べ2日)
【今後の課題・方向性】 確実な被害状況の把握と出没エリアの予測 錯誤捕獲での学習不足個体の扱いについて、殺処分を検討していく	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業実施率			13%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	ツキノワグマ保護管理計画の上からも必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	個体と共存するためには有効な事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	被害防止物品の配布と出没時安全対策は複合策として効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	年少者から高齢者まで状況に応じて対応している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	近年、ツキノワグマ個体数の増加や錯誤捕獲個体の活動が懸念されている。農作物被害対策として、侵入防止柵設置等の徹底と人身被害対策の充実を図るため、従来の安全対策事業と併せ鳥獣被害対策実施隊の有効活用を推進する必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002041	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	有機農業支援事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	有機農業支援事業費		予算事業コード	01-05-01-03-31-31	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	有機肥料
意図 (どのような状態にするために)	有機肥料の取り組みを広め、環境に優しい農業を推進する。
手段 (どうするのか)	堆肥や有機質肥料の購入費に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	平成24年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	平成25年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	平成26年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	平成27年度 有機堆肥購入助成 有機肥料購入助成	
	年度別実績	有機堆肥支援 2,080t 有機肥料支援 190t	有機堆肥支援 1,479t 有機肥料支援 435t	有機堆肥支援 1,002t 有機肥料支援 401t			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,798	5,479	5,197	0	4,800	
	直接経費 A	4,299	3,994	3,740	0	4,800	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,299	3,994	3,740	0	4,800		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		有機肥料購入量	t	目標	0	0	2000	2200	2400
	(指標の説明) 有機質肥料の購入量	実績	0	0	1403	0	0		
2		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		
3		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P166(農032)</p> <p>【事業の概要】 担い手農業者が、鳥取いなば農業協同組合等から購入する有機堆肥・肥料の購入費に対する支援</p> <p>【事業の成果】 有機堆肥(1,002t)、有機肥料(401t)に対して支援を行い、環境に優しい農業、循環型農業の促進を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 環境に優しい農業、有機資源のリサイクルに着目した循環型農業が注目されており、今後も有機肥料等の利用の促進を図っていくとともに、対象肥料のさらなる検討が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	有機肥料購入量			70%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	環境に優しい農業の推進に繋がる事業であり、妥当であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	環境に優しい農業の推進が図られており、有効であるため。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	有機堆肥・肥料の利用の促進が図られているが、対象肥料等のさらなる検討が必要であるため。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	関係機関と連携を図り、対象農業者の把握と周知ができており、適正である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	環境に優しい農業、有機資源のリサイクルに着目した循環型農業が注目されており、今後も有機肥料等の利用の促進を図っていくとともに、対象肥料のさらなる検討が必要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002038	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特別栽培農産物生産振興事業		所属名	農林水産部 農業振興課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	特別栽培農産物生産振興事業費			予算事業コード	01-05-01-03-30-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	特別栽培農産物
意図 (どのような状態にするために)	特別栽培農産物の取り組みを広め、環境に優しい農業を推進する。
手段 (どうするのか)	有機農産物や特別栽培農産物の生産や出荷に対する支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 特別栽培米出荷助成 特別栽培農産物生産奨励	平成24年度 特別栽培米出荷助成 特別栽培農産物生産奨励	平成25年度 特別栽培米出荷助成 特別栽培農産物生産奨励	平成26年度 特別栽培米出荷助成 特別栽培農産物生産奨励	平成27年度 特別栽培米出荷助成 特別栽培農産物生産奨励	
	年度別実績	特別栽培米出荷助成12,921袋 特別栽培農産物生産奨励18.4ha	特別栽培米出荷助成13,166袋 特別栽培農産物生産奨励20.2ha	特別栽培米出荷助成11,918袋 特別栽培農産物生産奨励19.1ha			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,894	6,099	5,647	0	5,000	
	直接経費 A	4,395	4,614	4,190	0	5,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,395	4,614	4,190	0	5,000		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	特別栽培農産物栽培面積	単位	ha	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績	160	160	180	180	0						
	(指標の説明) 本事業を活用した県認証特別栽培農産物、JA特別栽培米の作付面積												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P165(農029)</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特別栽培米の出荷に対して支援を行う出荷奨励 2 特別栽培農産物(水稻を除く)の生産に対して支援を行う生産奨励 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特別栽培米の出荷11,918袋に対して支援を行い、特別栽培米の生産振興を図った。 2 特別栽培農産物19.1haに対して支援を行い、特別栽培農産物の生産振興を図った。 <p>【今後の課題・方向性】 消費者ニーズの高い安全・安心な減化学肥料米の生産・出荷を促進し、鳥取産米のブランド化を図るため、特別栽培米の出荷、また、環境に優しい農業への取り組みを推進するため、特別栽培農産物(水稻を除く)の生産に対して支援を行う必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	特別栽培農産物栽培面積	104%	109%	89%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	環境に優しい農業の推進を図るうえで妥当であるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	環境に優しい農業である有機・特別栽培に取り組む農業者が増加しており、有効であるため。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	再生産性の悪い有機・特別栽培農産物に対して支援を行っており、効率的であるため。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	関係機関と連携を図ることで対象農業者の把握と周知が図れており、適正であるため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	減農薬、減化学肥料等で生産された安心安全な農産物のニーズは高く、取り組み拡大に向け検討していく必要がある。		
担当課長の評価コメント			

事務事業評価シート

事務事業コード	002027	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	地産地消推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	直営
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	地産地消推進事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民、各保育園・小中学校、地産地消推進団体等
意図 (どのような状態にするために)	地産地消を推進するため
手段 (どうするのか)	地産地消推進協議会を開催し、地産地消推進行動計画に基づく各種事業の円滑な進捗を図る。また「地産地消フェア」を開催し、広く市民へ啓発する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	「地産地消フェア」の開催	「地産地消フェア」の開催	「地産地消フェア」の開催	「地産地消フェア」の開催	「地産地消フェア」の開催	
	年度別実績	「地産地消フェア」の開催 H24.2.12開催 地産地消フェアプレイベント開催 H23.1.29開催	「地産地消フェア」の開催 H25.2.24開催	「地産地消フェア」の開催 H26.2.9開催			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,200	1,038	1,074	0	372	
	直接経費 A	450	295	345	0	372	
	直接経費の財源内訳	国・県	214	86	112	0	74
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7	0	0	0	0
		一般財源	229	209	233	0	298
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	地産地消フェアの参集人数	人	目標	0	0	300	300	300
				実績	0	0	200	0	0
	(指標の説明) 地元の農林水産物や優れた技術で生み出された製造品の素晴らしさを一人ひとりが認識し、地元で消費する。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【9次総の施策体系】 No.5 1 0 1</p> <p>【事業の概要】 関係団体等とで構成している地産地消推進会議により、地産地消推進行動計画に基づく各種事業の円滑な進捗を図るとともに、啓発イベント等を行う。</p> <p>【事業の成果】 1 地産地消推進協議会を開催し地産地消行動計画の円滑な推進の実施 2 「地産地消フェア」の開催</p> <p>【今後の課題・方向性】 地産地消の意識向上を図り、地産地消率も上がってきたものの、地産地消フェアへの若い保護者の参加者が増えない。地元食材の良さをもっとPRする。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地産地消フェアの参集人数			67%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の地産地消率を向上させるため、必要とする事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	毎年度地産地消率が向上しており、さらには地元産農産物を活用する消費者が増えたことは、大きな成果であると考えている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	フェアへの参加者は増加しないものの地産地消に対する意識は向上しており、今後も効果は上がる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	農業・商業・漁業・林業などの関係団体で構成した協議会で開催するフェアであり、今後も実施する事業である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	現状のまま継続実施	

事務事業評価シート

事務事業コード	002028	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	食育アドバイザー派遣事業		所属名	経済観光部	経済・雇用戦略課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市食育アドバイザー派遣要綱
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	その他
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	食育アドバイザー派遣事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	食育アドバイザー
意図 (どのような状態にするために)	地元農産物や地域の食材を使った伝統料理等に対する理解を深めることにより、食と農林水産業の地産地消の促進を図る。
手段 (どうするのか)	小・中学校等での食育教育への派遣及び公民館主催の料理講習など各種団体が行う地産地消等に関する研修会などに「食育アドバイザー」を派遣する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 「食育アドバイザー」の派遣	平成24年度 「食育アドバイザー」の派遣	平成25年度 「食育アドバイザー」の派遣	平成26年度 「食育アドバイザー」の派遣	平成27年度 「食育アドバイザー」の派遣	
	年度別実績	「食育アドバイザー」の派遣 57件 1,102名参加	「食育アドバイザー」の派遣 64件 1,773名参加	「食育アドバイザー」の派遣 61件 1,029名参加			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,079	1,093	1,057	0	325	
	直接経費 A	329	350	328	0	325	
	直接経費の財源内訳	国・県	157	108	104	0	65
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	172	242	224	0	260
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		派遣回数	回	目標	53	55	55	60	60	
			実績	57	64	61	0	0		
	(指標の説明) 研修会などへの派遣回数									
	2	研修会等への参加人数	人	目標	0	0	600	600	600	
				実績	0	0	1029	0	0	
(指標の説明) 地域の食材を使った伝統料理等に対する理解を深め地産地消を推進する。										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249</p> <p>【9次総の施策体系】 施策No. 5101</p> <p>【事業の概要】 小・中学生、保育園児・保護者や市街地の消費者が、農林水産物や地域の食材を使った伝統料理に対する理解を深めることにより地産地消を推進する。</p> <p>【事業の成果】 優れた技術を持つ農林水産業者、農産物加工・地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる人たちを「食育アドバイザー」として選定し、小・中学校や地域公民館が開催する料理教室など食育に関する研修会に講師として派遣し、食と農林水産業への理解を深める。 食育アドバイザー謝礼：派遣1回当たり 講演10千円/人、 農林水産物加工・料理講習5千円/人</p> <p>【今後の課題・方向性】 より多くの団体に制度を活用してもらえよう、利用に際して受付内容の検討を行う。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	派遣回数	108%	116%	111%		
	2	研修会等への参加人数			172%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市の地産地消推進協議会の承認が必要
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市の機関が承認することにより利用者が安心して活用できる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	主催者のアンケートを取っているが参加者にも好評である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	アドバイザー名簿と利用の手引きを毎年年度初めに各地区公民館、小・中学校等に郵送等で送っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	より多くの団体が派遣制度を利用し、地元食材を使った伝統料理等に対する理解を深め、地産地消の促進を図る。	

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合わせ先】 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>当初予算・P162 (農024)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 希望の小学校において米作り体験学童農園を実施</p> <p>2 米作り体験学童農園を実施した小学校を対象に米料理教室を開催</p> <p>【事業の成果】</p> <p>米の消費量が年々減少しており、我が国の食料事情及び伝統的な主食である米の大切さを知る機会が必要であり、この事業を通じて学校教育分野において米の消費拡大及び食育の推進を図った。</p> <p>■内容</p> <p>小学校で実施される「米づくり体験」、及び「米料理教室」に対して、助成を行う。</p> <p>(1) 米づくり体験学童農園 22校 委託先：各小学校PTA等</p> <p>(2) 米料理教室(米づくり体験学童農園実施校対象) 26回 委託先：鳥取市食生活改善推進員連絡協議会</p> <p>■実績</p> <p>H23年度決算額 1,360千円 H24年度決算額 1,218千円 H25年度決算額 1,248千円</p> <p>(1) 米づくり体験学童農園実施校 H23年度 23校 H25年度 22校 H24年度 23校</p> <p>(2) 米料理教室実施回数 H23年度 28回 H25年度 26回 H24年度 26回</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>学校の要望に応じて継続して実施するが、農地を確保できない学校に対しての対策を講じる必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	取組小学校数	77%	77%	73%		
	2	取組回数	100%	100%	93%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	米の消費拡大につながるよう教育の一環として行っているため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	米作りの一連の流れを経験し、収穫物を食することで子供たちの米への関心も高まっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	米作り体験・米料理教室とも、小学校PTA等や市食生活改善推進員への委託により高い費用対効果を実現している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	農園面積に応じて委託料の算定をしており、適正と考える。米料理教室も委託先の食生活改善推進員連絡協議会と協議の上で算定しており適正と考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	学校教育の現場で米の消費拡大や食育の推進を図るために有効な事業であり、1校でも多くの学校で取り組まれるよう推進していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002031	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	学校給食用農産物供給支援事業(栽培支援)		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、 根拠計画等	学校給食計画栽培支援事業補助 金
施策	5101	農林水産業の振興				
目標の 目	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	学校給食計画栽培支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-15

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	学校給食用の食材を栽培している営農集団
意図 (どのような状態 にするために)	地元農産物を計画的かつ安全に生産する営農集団を支援することにより、学校給食に安全な農産物を提供する。
手段 (どうするのか)	学校給食用として生産出荷する団体に対して補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	営農集団の出荷時の支援 たまねぎ・30t 馬鈴薯・20t 千両なす・1.5t さつまいも・5t 白ネギ・0.5t ブロッコリー・0.5t にんじん・8t アスパラガス0.5t	営農集団の出荷時の支援 たまねぎ・25t 馬鈴薯・15t 千両なす・2t さつまいも・10t 白ネギ・5t ブロッコリー・0.5t にんじん・4t アスパラガス1t	営農集団の出荷時の支援	営農集団の出荷時の支援	営農集団の出荷時の支援	
	年度別実績	営農集団の出荷支援 玉ねぎ・24.3t、馬鈴薯・11.2t、千両なす・1.4t、さつまいも・7.3t、白ネギ・4.2t、ブロッコリー・0.3t、にんじん・3t、アスパラガス・1.6t、さといも4	営農集団の出荷支援 玉ねぎ・15.6t、馬鈴薯・7.1t、千両なす・1.9t、さつまいも・7.8t、白ネギ・3.6t、ブロッコリー・0.9t、にんじん・4.7t、アスパラガス・1t、さといも他	営農集団の出荷支援 玉ねぎ19.6t、馬鈴薯12.1t、千両なす2.1t、さつまいも8.6t、白ネギ4.2t、ブロッコリー1.2t、にんじん4.3t、アスパラガス0.8t、さといも8.4t			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,112	1,111	1,112	0	422	
	直接経費 A	362	368	383	0	422	
	直接経費の財源内訳	国・県	172	114	122	0	84
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	190	254	261	0	338		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	地産地消費率	%	目標	60	60	60	60	60
				実績	60	65	70	0	0
	(指標の説明) 学校給食に県内産の食材を使用した割合								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249
	【9次総の施策体系】 施策No.5101
	【事業の概要】 鳥取地域の学校給食用に農産物を計画的に生産出荷する団体に対して、出荷経費等を助成し生産組織の育成を図ることにより、児童生徒に顔の見える安心・安全な農産物の提供を行うとともに、学校給食における地元産食材の利用促進を図る。
	【事業の成果】 鳥取地域の学校給食用として生産出荷する団体に対して、栽培ほ場を特定するための出荷経費助成、生産履歴の記帳助成を行う。 現在10品目
	【今後の課題・方向性】 地元産食材の生産団体を支援することにより、安心・安全な地元農産物の計画栽培を増やす。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地産地消率	100%	108%	117%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校給食の地元農産物の利用の促進を目的に地産地消の推進を図る。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	現在10品目あり少しずつ生産団体も増えている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	生産者の食の安全への意識が高くなっている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市の地産地消率の向上のため協力していただいている団体。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	学校給食用の農産物を計画的かつ安全に生産する農業集団を支援することにより、児童・生徒に安全な農産物を提供でき、地産地消の推進にもつながるため今後も続けていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002033	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	学校給食用農産物供給支援事業(供給支援)		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	国内外に躍進する、競争力のある産業をつくる		根拠法令、根拠計画等	学校給食用農産物供給支援事業補助金
施策	5101	農林水産業の振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	新規就農者数		5人	6人	運営方法	補助金交付
	間伐材搬出量		1万?	1万?	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	学校給食用農産物供給支援事業費			予算事業コード	01-05-01-03-26-21

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	学校給食用の食材を栽培している営農集団
意図 (どのような状態にするために)	学校給食用における地元農産物の利用促進を目的とした、団体の供給体制の整備の充実を図る。
手段 (どうするのか)	学校給食への地元産食材の供給体制を構築する団体に対して補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 営農集団の育成支援 8件	平成24年度 営農集団の育成支援 3件	平成25年度 営農集団の育成支援	平成26年度 営農集団の育成支援	平成27年度 営農集団の育成支援	
	年度別実績	営農集団の育成支援 4件	営農集団の育成支援 3件	営農集団の育成支援 3件 学校給食の供給に要するしょうゆの製造に必要な大豆の購入支援 1件 (平成25年度のみ)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	950	886	1,079	0	350	
	直接経費 A	200	143	350	0	350	
	直接経費の財源内訳	国・県	95	44	112	0	70
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	105	99	238	0	280
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		地産地消費率	%	目標	60	60	60	60	60	
			実績	60	65	70	0	0		
	(指標の説明) 学校給食に県内産の食材を使用した割合									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249
	【9次総の施策体系】 施策No.5101 【事業の概要】 学校給食への地元産食材の利用促進を目的とした、供給体制の整備・充実等に取り組んでいる団体を支援し、より安全・安心な学校給食の実現に取り組みながら地産地消の推進を図る。 【事業の成果】 学校給食への地元産食材の供給に取り組んでいる団体に対し、供給体制の整備・充実などの取り組みを支援することで学校給食における地産地消を推進する。 ①取組みに要した経費の10/10を3団体に補助した。 (ただし、1団体につき上限5万円) ②学校給食用に地元産大豆を活用して醸造したしょうゆの原材料の1/3を助成した。 (平成25年度のみ) 【今後の課題・方向性】 より多くの団体に補助し、供給体制の整備・充実を図り地産地消を推進する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地産地消率	100%	108%	117%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の地産地消率の向上のため協力していただいている団体への支援
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	団体の供給体制の整備・充実への支援をすることにより、安全・安心な学校給食の実現につながる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	視察や研修費用など補助対象が多く団体が利用しやすい。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	学校給食の地産地消率の向上に協力していただいている団体

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	より安心・安全な学校給食の実現に寄与するため今後も続けていきたい。	